年中無休刊 大正七年三月三十日 THE KEIJO NIPPO 第千七百七十號 （一）

京城日報

二十九日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價 △一部金二錢五厘△一ヶ月金五十錢……
廣告料金 ……
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
印刷人 小山三之助

◎露都刻々危險

華盛頓來電＝ペトログラード駐在米國領事は三月二十日電報にて報じて曰く露都の陷落は刻々近きつゝあり（華府電報）

◎過激派感謝狀贈呈

過日ブラゴエチエンスクに於ける戰鬪の際獨逸俘虜九名衞生隊を組織し負傷者を取扱ひたる好意に對し過激派は感謝狀を贈れり（哈爾賓電報）

◎對伊國大攻勢準備

獨墺軍は今や伊太利に對し大攻勢を執る可く準備しつゝあり（羅馬電報）

◎英佛軍聯楔點堅固

二十三日一時危所に瀕せし英佛兩軍間の聯楔點は再び堅固に結合され英佛總參謀部の共同作業は日々密接となれり（巴里特電）

◎ベーグ元帥兩地陷落公報

ベーグ元帥は二十五日公報にてネスル及びバポームを敵に委するの已むを得ざるに至りしを述べたり英軍は二十五日の空中戰にて爆彈千七百個を投下せられたり（倫敦電報）

◎長沙南軍引續遁走

長沙の南軍は二十六日午前四時より引續き衡山方面に遁走しつゝあり之れ張懷芝氏の軍が江西より其退路を絕たんとして進擊を開始せるが爲めなり岳州の北軍は依然として攻勢に出づる模樣なし（漢口特電）

◎御內帑金下賜

畏き邊にては在布哇日本人慈善會の事業として日本人病院新築の旨聞し召され二十八日御內帑金五千圓を御下賜相成りたり（東京特電）

◎總長首相密議

上原參謀總長は二十八日午前八時半寺內首相を官邸に訪問し一時間に亘りて密議せり（東京特電）

◎辭令

二十八日附左の通り辭令ありたり（東京特電）

南滿洲鐵道株式會社理事を命ず　改野耕三　樺山資英

▲附記　右は滿期重任をなれる也

東京より

在京　一記者

獨逸東漸と極東問題（十五）（下の下）

出兵反對論に就て

○次に吾人の解せざる可からざるは、英佛伊の聯合國は、皆日本の出兵に對し、同意を表しつゝありと雖も、米國は必ずしも之に贊成せざるが如しと云ふ說、是れ也。○世界大戰に對し、我が帝國が聯合國と共同作戰の態度に出づる以上は又其の共同利害に關し、意志の共通を圖るの必要あるは、論を俟たず。此點に於て、我が帝國が西伯利出動問題に關し聯合國と其意志を共通せむとせるは、當然の措にして、之を非難すべき理由無し。○帝國の西伯利出動は、聯合國の共動利害に關する問題なりと雖も其實は國家自衞の根本問題に接觸し、帝國の自ら決せざる可からざる問題にして、聯合國の言議に左右せらるべき問題にあらざる也。左れば、假令ひ米國にして、米國の立場より帝國の西伯利出動問題に對し、贊成する能はざる事情ありとするも、我が帝國は、飽迄帝國自衞の已むべからざる所以を明かにし、其の疑惑を釋くの道に出でざる可からず。否寧ろ米國と意志の共通を圖り、日支米三國提携の策に由りて、西伯利問題を解決するの活手段を講せざる可からず即ち日本は陸軍の力を以てし、支那は物資の力を以てし、米國は財政經濟の力を以てし、三者相合して、戰時に於ける西伯利問題に處し、戰後に於ける西伯利問題に處せざる可からず。西伯利問題の解決は、獨り獨逸の東漸を防遏し、露國過激派の亡狀を鎭壓して、同地方に於ける安寧秩序を保維するのみならず、戰後に於て、世界未發の富源を開き、其の人文を啓發するに於て、日米支三國共同一致の力を必要とすれば也。

○苟も我が帝國にして、日支米三國提携の策を以て、米國の國論を指導し、共同一致の態度に出づるに於ては、米國は決して我が帝國の出兵主義に反對するの擧に出でざるべし。否米國が進みて帝國の出兵を歡迎し、財政的後援を我に與ふるに躊躇せざるべきは吾人の信じて疑はざる所也。

○且つ一歩を進めて云へば、日米兩國は、聯合國共同の敵たる獨逸を膺懲するに於て、共通の利害を有し、共通の目的を有するのみならず。支那問題に對し、我が帝國の東邦に於ける特殊的位置を承認するに於ては、西伯利問題に就ても、苟も帝國の立場を明にし、其の意志の共通を圖り、其の疑惑を釋かば、米國か日本の態度に反對することを能はざるや明白也。米國を啓發し、其の所信に向て猛進勇斷するに於て、何の顧慮する所あらむ。吾人は米國の態度不明の故を以て西伯利出動に躊躇すべき理由を見出す能はざる也。

◉對支貿易（二）

貿易額增大努力

阪谷男一行中　古關次郎氏談

●今度の日獨戰爭以前迄は支那に於ける列國の住民數は矢張り日本人が第一位で其れから英獨佛米の順序だつたと記憶してゐる一體英米人は宣敎師の數も大分有るから其の勢力は非常なものである而かも彼等宣敎師は土地の借用權を有つて居るので到る所に

▲敎會を建てる　學校を建ててゐる病院を建てると云ふ風で却々支那人間に持て囃されて居る前の大隈內閣の時支那政府に對して日本の僧侶に對しても宣敎師同樣布敎所を建てる事を許し土地の借用權を與へて吳れと交渉を開始した事があつたが其の時の支那政府の回答が面白い『佛敎は私の國にも昔からあつたもので今更貴國から布敎される必要がない基督敎は外國の宗敎で之を信ずると否とは國民の自由ですから……』との事であつた總て英國人は斯んな風に先取的に各方面に勢力を扶殖して居るズット以前勢力のあつた佛蘭西人は

▲漸次衰へて　新たに昨今では米國人が活躍し出した併し彼等は一般に長續きがしない何故なれば彼等の多くは學校の敎師等に傭はれて支那人間に受けは良いが其の報酬が百五、六十兩の給料而かも夫れが銀であるから彼等の生活程度としては餘り裕かな暮しは出來ない夫れで長續きがしないのである併し米國は何時も支那に向つて金を貸さうかと言ふ樣な話しを持ちかける又貸た金の返濟を受けないと言ふ風な態度を示すので之も支那側の受けは宜い一つとなつてゐる斯の如き有樣であるから

▲日本の勢力を　今後支那に扶殖し樣と思へば如何しても貿易額を增大せしめる事に努めねばならぬ他の外交的の政策とか或は權利の獲得とか言ふ樣なものでは到底日本の勢力を扶殖する事は困難である貿易を盛んにして日本の物資をどし〳〵支那の市場に送り込む事が最も効果の多い對支策である事は最近數年間の實蹟に就いて見るも明かな事である

◉農商工部新事業

大正七年度豫定新事業

大正七年度朝鮮總督府特別會計豫算の議會を通過したる結果各種繼續事業は勿論新事業も當局の計畫通り施行せらるべきが農商工部所管中同年度施行若くは同年度より著手せらるべき新事業は之に關する官制發布の上ならでは確定事と爲す能はざるものもあれども凡そ左の如くなりと

▲鑛務課　一、地質調査所新設　一、鑛區臨檢事業擴張の二にして地質調査所新設の件は從來の鑛床調査の事業範圍を擴張せんとするものなること既報の如く又鑛區臨檢は近年鑛業の發達に伴ひ鑛業權の出願件數激增の爲め當該職員を增加するの必要あり三十餘名の增員を見るに至るべしと

▲商工課　朝鮮貿易の進展、產業の發達に伴ひ亞細亞露西亞、露本國、南北滿洲、蒙古、北支那各地の貿易狀況を調査するの必要を認め大正七年度より露支貿易調査の常設機關を設くることゝ成るべしと

▲山林課　忠淸南北道を貫流せる錦江の上流無心川沿岸の山野荒廢し治水上造林の必要あり忠淸南北兩道に對し補助金を與へて之を施行せしむることゝ成るべし

▲水產課　嚢に道水產主任會議に於て審議されたる水產製品檢査規則發布の上各稅關に試驗員を增配せらるべし

▲農務課　甜菜栽培試驗を平安南道並に黃海道に於て施行さるべし一、釜山所在農商務省獸疫血淸製造所移管の件は既報の如し

◉定例長官會議

二十九日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き長谷川總督臨席各部長官局長參集諸般の政務に就き審議する處ありたり

◉切手臺紙回收

昨年末十錢以下の小額通貨缺乏甚しき際遞信局にて賣出したる臺紙附五錢切手は一月に入りて以來回收を續け昨今も猶ほ各郵便局にて一日百圓內外宛の回收をなしつゝあるため目下の所其の殘額は各地を通じ約二三千圓に過ぎざるべし而して回收は多く郵便貯金に充當するものにして電信料金爲替料金郵便料金未納不足分等にも充てられつゝありと

◉京城府協議員會

京城府に於ける大正七年度豫算案は過般來道廳に提出認可申請中の處二十七日認可ありたるを以て三十日府協議員會を開き附議すべしと

◉朝鮮紡織業務

朝鮮紡織株式會社は未だ業務開始の運びに至らず南山町一丁目に臨時事務所を設け靑木氏專ら庶務を處理

◉淸津敦賀線命令

日本海航路は朝郵にて受命

多年の問題たる日本海橫斷定期航路は豫算公布の結果補助費決定せしを以て二十九日持地

▲遞信局長官　は朝鮮郵船會社專務吉田秀次郎氏を遞信局に招致し二十八日附を以て開航命令書を交附したり航路の名稱は淸津敦賀線と稱し內容は既報の如く就航船二千噸以上鋼又は鐵製汽船一隻にて時間最強速力十二哩以上一箇月二回一年三十回以上淸津を基點とし福井縣敦賀港間に往復航をなし而して往復航共

▲元山城津　の二港へ寄港を命令しあり實行は大正七年四月一日より補助金は年額二十九萬餘圓なり尙ほ貨客運賃並に配船發表は朝鮮郵船會社にて直ちに既に作製の分を當局に進達認可を受くべきが多分三十日中に決定するならん

しつゝあるが常務取締役田邊輝雄氏は愈々最近入京の上居宅を設け工業の進捗に任ず可く會て滯在し社の顧問たる中村彥氏も近く入京する由なり

◉花見氣分に醉はんが爲め

李湯化龍氏秘書談

渡日の途にある前支那內務部總長湯化龍氏の秘書李信臣氏は往訪の記者に語つて曰く

▲何等意義無し　北京を出發してから早や十五日以上にもなるが、段內閣の成立は奉天で初めて聞いたが成立に就ての事情等は一向知らぬ湯氏今回の日本行きは別に深い意味があるではなく只日本の櫻花時期を東京で暮らし悠々自適花見でもしたいと云ふ希望の外何もない日本滯在は約二箇月の豫定で歸途も是非朝鮮を經由したいと思つて居る

入京滯在中の湯化龍氏

▲參戰と出兵　奉天では張督軍とも會見したが支那の參戰若しくは西伯利出兵などは到底物にならぬ邊境方面に多少の出兵をしてゐるのは事實である、獨逸勢力の東漸に伴ひ日本でも出兵論と非出兵論と出兵尙早論とがある樣であるが……什麼です多分出兵はしないと思ふ是れも邊境方面の推移と事態の輕重とに依る事と思ふ

▲二箇師團增設　張督軍の二箇師團增設問題か……內容に就いては深く知らぬが隨分入り込んだ事情がある樣に見ゆる督軍は其の完成を大に急いでる模樣であるがソウ早く出來まいと思ふ要點は財政の如何に歸著する譯である

▲日支親善努力　支那側でも日支兩國は互に親善にしなくてはならぬと云ふ事を痛切に感じたるものは只今の處遺憾ながら第一流の人物若しくは智識階級に止まり一般國民は未だ夫れ程に感じてゐない樣である、此の種の國民を指導し誘發して眞の日支親善を促進らしむるには多大の努力を要する是れには日本も支那にのみ委せず自ら進んで指導し誘掖して貰らはなくてはならぬ、要するに日支親善は最早や世界の大勢である兎に角今回の日本行は御話しの通りの譯で何等是れと云つて纏つた話もないが歸國の際は前に云つた通り必ず朝鮮を經由するつもりであるから其の際は觀光中の所感若しくは其の他の事に就いて話さうと思ふ（安東縣）

◉林長民氏入京

前支那司法部總長林長民氏は二十九日夜入京湯化龍氏と共に三十日朝出發內地に向ふべし

◉湯化龍氏動靜

朝鮮ホテルに滯在中なる湯化龍氏は二十八日博物館を觀察し二十九日昌德宮を拜觀せり

◉支那委員入京

日支鐵道聯絡會議出席の爲め渡日の途に在る支那側委員中京奉鐵道營業課長フォーレー日通譯課長陳國衞、交通部員胡鴻猷、魏務英、津浦鐵道運輸課員朱浦氏の五名は二十八日夜入京廿九日午前十一時總督府を訪問同夜出發東上す可し

◉交通部員來京

支那交通部員廿三名は中山同部顧問引率の下に東京に開會する電氣博覽會見學のため三十日夜北京より入京朝鮮ホテルに投宿卅一日夜若くは四月一日朝出發東上の豫定なりと

◉軍司令官動靜

松川軍司令官は山本參謀野津副官を從へ二十八日午後四時大邱著雌屋旅館に投宿二十九、三十の兩日步兵第八十聯隊の第一期檢閱に臨み三十一日午後一時二十三分大邱發途中溫陽轉地療養所觀察の上歸任の豫定なり（大邱）

◉土木建築協會披露宴

朝鮮土木建築協會は道廳成立披露の爲め京城記者團を二十八日夜千代本に招待したるが主人側は會長松本勝太郎副會長田中半四郎同後藤庄氏相談役荒井初太郎氏其他數氏出席松本會長の挨拶山縣セウルプレス社長の謝辭ありて盛會裡に散會せり

九州要地歷訪（十二）

別府生

◇鐵の都の八幡

◆八幡市は製鐵所の八幡也、此の事實は八幡より製鐵所を除かば殆んど何者も殘らざるべしと推想せらるゝ事、並に八幡に於ける事業らしき事業、商店らしき商店が直接間接製鐵所を中心とし、製鐵所を圍繞しつゝあるに見るも明白に御座候

◆門司より九州鐵道に搭乘して南下するものは、枝光八幡兩驛間右方の窓外に連續する製鐵所大工場の盛觀に驚ろかざるものなし、其の沖空に及ぶ林立せる煙突は不斷樣々の黑煙を吐き、二萬の職工は六十餘萬坪の廣表に狹しと建ち並びたる工場內に營々働らきつゝあり、其の創業以來の投資額六千餘萬圓、而して年々三十五萬餘噸の鋼鐵を吾が各方面に供給しつゝあり、此の大所帶が八幡を夙に町とし、而して昨年七月より市制の施行を餘儀なくせしむる程の實力を附與したるは當然なるべき乎

◆現在の戶口を聞くに戶數一萬四千、人口六萬八千に及ぶと云ふ福岡縣の六市中福岡市と門司市とを除けば小倉久留米大牟田は遙に八幡市の下位にあり、然も猶ほ前の數字に洩れたるもの少なからざるべしと思はる、小生の如き兒一步を八幡市に入れて、いかにも其の市中の人口稠密らしく、通行人の繁きに一驚を喫したるもの候、雖其の通行人たる大部分は餘り品良からざる職工並に其の家族らしく思はれ、幾干か他の都市とは面目を異にし居る樣に候

◆今後八幡の市勢が那邊まで發展するかは俄に想像し易からざる如し、乃ち八幡製鐵所の第三期擴張工事は大正五年以後六ヶ年の繼續事業として目下盛んに施工されつゝあり、其擴張費約三千五百萬圓の多きに及び製鐵製鋼製品各工場の完成を圖るものなるが、其の大正十年に至つて竣功せば現在卅五萬噸の製鐵は六十五萬噸に增大する由にて從つて所員職工の增加は非常なるものあるべく、其の曉きに至らば市としての經濟力は兎に角戶口のみを以て見んか、九州第一の大都市と化するやも圖られず候

◆雖然三期擴張工事は其の建設當局たる部長荻原工學博士の瀆職嫌疑による收監が基因し、目先き一頓挫を來せしやうにも承はり候、然し計畫は既に確立しあり、今後は其の計畫に則り實行を進め行くのみに付、專任部長を缺くとも、建設上の大障礙を來す如き事はなからん、唯荻原博士の如き技術優秀の士を失ふ事は製鐵所にとりては大損害なるべしとの事に候

◆八幡に於ける安田製釘所、九州化學工業會社、九州耐火煉瓦製造會社等は何れも頗る好成績のやうに承はり候、總じて八幡の景氣は戰亂以來鐵價の騰貴と對製鐵所人氣の沸騰せるため甚だ盛んなるやうに候、尤も近來に於ける疑獄事件の檢擧は一時市況を沈衰せしめたる觀あるも、コハ久しからずして雲霧去り、再び活況時代に入るべく候

◆序でに白仁製鐵所長官は就任後日猶ほ淺きが質素精勵身を持して所員を率ゐつゝあり、一例を申せば其の出勤退出なども職工と同じく九軌電車により、黑の詰襟の服……それは關東州民政長官時代の制服より金筋を除きたるものを著しつゝある由にて所員の如きは恐縮しつゝありとの事に候

◇黑崎の新興

◆八幡に隣接して黑崎あり、黑崎は八幡の發展に壓倒され居りしも近時著しく事業家の注目を惹き新事業勃興の模樣あり、乃ち安川電氣製作所、九州製鋼所、中央セメント工場、小川コンクリート製造所の如き其の二三也

◆且つ製鐵所第三期擴張工事は黑崎に張り出し、殊に其の多數は黑崎町民の所有せる前田の地に建設せらるゝ由にて同町も如況なるべしと存せられ候

◉千葉氏香典に關する注意

故千葉胤氏に對する香典及び祭粢料は本社に就て本紙に記載する所ありしが先般來續々御送附を受け居るが右は改めて同家より何分の挨拶あるべく一纏にして千葉家に贈呈したる上本社阿部よりは御送附の各位に對し別に領收書を差出し申さゞるべければ左樣御了承ありたし

人事消息

▲野口次郎三氏（總督府技師）二十八日寄港事務打合の爲め水原に出張を命ぜらる

▲野口俊一氏（元山土木出張所長）二十八日京元線鐵道道路改修工事視察の爲め安邊郡及龍駒郡管內へ出張を命ぜらる

▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長）二十九日海軍省と事務打合の爲め東京へ出張を命ぜらる

▲鈴村守之氏（大倉組鑛山技師）二十八日夜入京天眞樓へ

▲陳明氏（支那外交官）同上

▲中谷祿七氏（鑛山家）二十八日朝入京同上

▲小西春雄氏（鮮銀奉天支店長）二十八日夜入京不知火へ

▲喫田勇八氏（肥後銀行取締役）二十九日入京同上

▲國府小平氏（保安課長）二十九日平壤より歸任の途

▲大垣京城通信社長　二十八日釜山より歸京

▲岡田九州大學敎授　二十八日入京朝鮮屋へ

▲釜屋武官　二十八日水原より歸京

▲鹽永博士　同上

▲立川二郎氏（京城地方法院部長）二十八日夜著任

十一月一日現行

◉長距離砲 ◇を發明した◇獨逸は偉い◇

後栓裝置で第一彈より第二彈を第二彈より第三彈を發射される

▽架空的想像を事實の偉力とす

本紙二十九日朝刊に獨長距離砲が後栓裝置で第一彈より第二彈を第二彈より第三彈を發射して三十里の遠方巴里郊外を脅やかした旨の巴里電報を齎らして軍司令部岡參謀を訪へば

◉前年獨逸 がオステンドから英京倫敦の砲撃を企畫しつゝ有ると言ふ事を聞いて軍事當局は四十二珊砲さへ發明した獨逸の事であるから全然架空の夢ではあるまい然し近き將來に於ては實現はとても期し難いであらうと半信半疑の裡にあつたが這度愈々

◆後栓裝置で 長距離砲撃したと言ふ事を知つてさては獨逸は不斷の努力を傾けて遂に斯る大砲を發明したのであるかと舌を捲いて居た次第である、後栓裝置とは普通の煙火などにもある通り第一發から更らに第二發が上空に飛出して

◉爆發する 仕掛けになつてゐるのであつてあの煙火の裝置をずつと大きくしたものであらうと思はれる、然るに這度獨逸が用ひた砲彈は最後に落下したのが二百四十粍凡そ直徑一尺あると言ふ

◆大きな彈で あるから砲口は四十二珊以上もあるであらうと思ふ斯る偉大な武器を作り架空的と思はれてゐた偉力を可能ならしめつゝ有る獨逸は流石に偉いものだ

●一日勞銀 二十五留

‖に値上を迫つてゐた エ埠頭勞働者 ▼同盟休業も其邊の處?

浦鹽エゲリセリド埠頭の勞働者が賃金の値上げを發明し同盟休業を決行したとは本紙哈爾賓特電の報する處であるが之に就て某浦鹽通は語る

エゲリセリド埠頭 と云ふのは從來軍需品許り揚げて居たのであるが近來は軍需品がないので普通の荷物も揚げて居る埠頭の勞働者は從前から

一強が露人汽船が支那人艀船が日本人 と云ふ風な區別があり露人は一日六留許り貰つて居るが働く時間よりは遊ぶ方が多い、晝飯を食つた後の休憩がザツと二時間、氣に入らねば

荷物をオツ擲り出 した儘知らぬ顏をして居る、荷主や船員が困つて運搬を哀願するとソレでは賃金を値上げて呉れと切り出すなど全く手が付けられない、斯樣調子で最近一日二十五留に賃金の値上げを迫つて居たがコレには猛烈な荷主の反對があつて

未だ目的を貫徹す る迄に至らなかつた這度の同盟休業は如何なる程度のものか知らないが恐らく仕事中に例の駄々を捏ね出した位のもので然う重大視する程の事ではあるまい

◉製鐵所事件 各地に飛火 續々召喚さる

製鐵所事件の飛火が神戸の川崎造船所八幡出張所長川原金藏氏を初め三井物産門司支店雜貨係主任生格太郎、安田製釘所技光出張所主任中野長吉氏等は二十八日福岡地方裁判所豫審判事に取調べられたり猶大阪鐵工所用度課長西野芳久氏も當地に召喚さる(福岡特電)

◉收監廿五名 京都瀆職事件

京都市會瀆職事件に關し又復江良議員磯井鈴鹿前議員收監是れにて收監されし者都合二十五名に上れり(京都特電)

▼市會瀆職愈々擴大 京都市會瀆職事件にて前議員織井市五郎氏議員江船保三郎氏も危し收監せらるゝならん(京都特電)

◉相摸大火

二十九日午前一時相模眞鶴町の某飲食店より出火延燒して四百戸燒失せり(東京特電)

◉大阪の火災 高麗橋二丁目

場所柄とて非常の混雜を呈す

廿九日午前三時頃大阪高麗橋二丁目久勘呉服店の二階東北隅より出火して大事に及び遂に同店を燒拂ひ火は倚南隣りに移り其處に敷戸を燒失して同六時鎭火せるも同所附近には大阪有名の建物にて昨年九月百萬圓を投じて建築せる新館あり猶三井銀行、三井物産等の大建物を初め諸會社銀行櫛比せる場所柄とて一時大混雜を呈せり(大阪特電)

◉喇嘛僧來

◆日本宗教視察觀光のため 高僧廿五名

內蒙古に於ける代表的喇嘛教の高僧及び滿洲に於ける喇嘛教總本山奉天黃寺住職等總て廿五名は擧て日本の宗教界視察及び觀光の爲め渡日の計畫中なりしが愈々蒙古を發し奉天の釋默笑師一行を案內し途中奉天に立寄り四月二日午前七時五十分南大門驛着列車にて入京同日

◇◇總督府を訪 問し午前中は商品陳列館、京城郵便局、朝鮮銀行を參觀し午後昌德宮を拜觀し總督府醫院、博物館等を觀翌三日は出發內地へ向ふ可し而して當地は各宗聯合にて

◇◇一行歡迎會 を開く可き計畫中にて協議を進めつゝあり內地にては大阪、京都、東京の外桃山御陵善光寺等にも參詣し滯在約一箇月の豫定なりと

◎喇嘛僧の三度吃驚 ◆奇想天外的の驚き方◆

今度內地の觀光に向つた喇嘛僧一行が大連で海を見物して曰くに『此の

◇沙漠 は青いが如何した譯だ』と又曰く『鐵で造つた船が木の船の如く浮ぶとは天下此の位の不思議はない』と、又た大連ヤマトホテルで御馳走になつたとき曰く『教によりて

◇極樂 は知つてゐるが未だ曰に見た事はないが多分斯んな處だらう』とホテルの調度や食器さては家屋の構造の

◇善美 なるを見ての感想であるが今後の日本見物では更により多く吃驚するだらう(安東縣)

◇喇嘛僧

翁の面 ―その儘の顏―

京城の市中に謠曲、義太夫、長唄、琴、尺八、琵琶、サア井オリンなどの音曲を初めに次いで茶道、生花、碁、將棋、撞球の諸藝から、さては武張つた劍道、柔道、弓術等に至るまで諸藝百般、名々稽古指南の看板を揚げてゐる所は敢て尠なくない、これ等の先生或はお師匠さんを別に前後の順序もなく、また何んの目的もなく足の向くまゝに訪れ歩いて見るのも春の日なればこそである——△△△—

謠曲のお師匠さん 觀世流松齡會の中川正致翁

△十の歲から謠を習つて六十二歲の今では京城の古參株——息子さんは東京の觀世の本家へ

◇婦人連の袴能—稽古な道ぶ(その一)

◆南山町 は三丁目、巴城館の前を少し上つたところに觀世流松齡會といふのがある、主は觀世全盛の京城謠曲界での最古參、そして今年六十二歲といへば年齡から言つても元老株で、お能の翁の面そのまゝの古雅な顏の所有者たる中川正致翁が即ちそれである。正致翁が始めて謠ひの道に志したのは慶應二年の春、といへば未だいたけ盛りの十歲の時だつた、京都の片山家から郷里松山に津田茂僞といふ人を招き就て

◆學ぶ內 に明治五年宗家觀世淸孝から直弟子の資格を貰ひ更に十七年に九番ゝ能免狀といふを受けて各地の催能に出演する事になつた。朝鮮に來たのは明治四十年の九月、京城の本町筋に腰を据ゑて、それまで習ひ覺えた謠とは全然別な方面の事業に手を出したが間もなく是を止めて今の所へ稽古場を設けると同時に松齡會が出來て以來毎月春秋二季に例會を開いて來たが三月の例會で百十七回になる、正致翁が京城で稽古を始めるまでは專門の

◆師匠こ いふ者はなく京釜鐵道社長の古市公威氏が同志數名と共に觀世の謠曲を研究してゐた位ゐで、謠ふ者も三四十人に過ぎなかつたのが昨今では寳生、多の諸流を合せると約七八百人に達してゐるさうだ、翁の斯道熱心は非常なもので長男は手許に置いても地謠が最も大切で普通の素謠は謠を敎へる傍ら諸流の謠本を售らせ、次男は東京の觀世本家に內弟子として修業にやつて居る、亦正致翁は平素からお弟子さん達に『謠曲は姿勢が第一、次ぎに腹に充分力を入れ

◆咽喉で 調子を取つて發聲し、假名遣ひは飽くまで明かに、神、男、女、狂、鬼の別及び位、緩急などを謠ひ分け得るやうにならねば趣味も出ないし面白くもありません』と言つてゐるとか、近頃翁の門下その他の婦人連中で仕舞を習ふ人が大分出來てきたので此の春あたり婦人連の袴能を仕組んで見たいと正致翁は言つて居る

◆舞難く 手足の運び、足拍子等規定の通り、爲る事も難かしく、亦仕舞の別、謠曲文章中に現はれた表情を形で充分に舞ひ現はすことも困難であるが是は何んでもないのである、一方謠ふ者も仕舞を研究して見ると謠の位、緩急のあるところがよく呑み込めて面白いさうである、翁の出身地前に記した伊豫松山の湊町は有數に謠曲の盛んな土地で子供の時から叩き上げた丈確かなものだといふ評判である

◉松花江解氷

松花江は二十六日全部解氷例年に比し約二週間早く一週間後には船舶航行し得可し(吉林特電)

◉正面衝突 義州通電車 乘員死傷なし

▼竹添町終點にて

二十九日午前零時五分頃京城電氣株式會社の第百十一號電車が竹添町一丁目義州通終點より鐘路に向け引き還して發車せんとしたる刹那、鐘路より竹添町に向け進行し來れる百十六號電車と猛烈

▽正面衝突 をなすに至り兩車共前部なる救助網を粉碎し倚運轉手臺の一部を破壞したる上雙方共脫線せり急報に接し會社より多數の工夫駈けつけて復舊工事を施し午前二時頃漸く

▽開通する に至れり前記の時間が深夜なりし爲め幸に乘客なく倚兩車の運轉手も辛く難を免れしが損害約三百圓なりと

◉電車老婆を轢く 線路內を通行

黃金町二丁目にて

二十八日午前八時十分頃京城電氣株式會社の黃金町四丁目行百十八號電車が黃金町二丁目を進行中通り一名の朝鮮婦人が電車線路內に

▼迷ひ込み 來りたるより警笛を鳴らしたる後運轉手韓某は(三)は急遽運轉を中止せしも防力にて遂に衝突し負傷婦人は直ちに最寄りの診病院に擔ぎ込み應急手當を加へしも後頭部を強打したる爲め腦震盪を起し同日正午頃遂に

▼絕命せり 急報に接し本町警察署より福田巡査部長出張檢證をなし取調べの結果死者は水標町二十五番地卞正淵の母鄭召史(七〇)と言ひ老衰の爲め視聽力共に鈍く遂に此の始末に及びたるものと判明したり運轉手及び車掌は引致取調中

◉大使一行の列車に投石

何等の意味も無い 小兒の惡戲

去る二十二日午後三時頃露都より歸朝の途にある內田大使一行を乘せたる最大急行列車が平南平原郡順花面地域を進行中俄然列車を目蒐けて投石せるものあり同列車の車窓硝子を

▽破壞 したれば大騷ぎとなり由最寄の停車場より其筋に急報せしかば平壤署に於ても時節柄の事とて早速各駐在所に命じ該犯人を嚴探したる處漸く右犯人は平原郡順花面新成里金在厚長男金松木(一二)と云ふ少年なること判明したれば引致嚴重に取調べたるに別段何等の

▽意味 もなく唯學校の歸途普通の列車より美裝せる最大急行列車の進行するに逢ひ投石せしものと迄一列に及びたれば惡々戒めて引取らしめたるが時期が時期とて一時は種々なる風說流布されたり(平壤)

◉猩紅熱 旭町二丁目

京城旭町二丁目三十番地石輪及び肥料製造業渡邊文治氏(四三)は廿五日發病二十八日猩紅熱と診斷總督府醫院に入院加療中

◉仔豺八頭生擒

慶北軍威郡召保面來儀洞洪鍾先は三月十九日附近の山中にて豺の巢窟を發見し親豺を撲殺せんとしたるに早くも逃走したるより其の跡にて仔豺八頭を生擒せり

◉有樂館の火事騷

二十八日午後九時頃京城本町活動寫眞館有樂館にて映寫中機械室の火鉢の中に落ちありしフキルムの切屑より發火したるよりスワ火事と言ふ大騷ぎを演じ一時觀客は上を下への狼狽をなしたるが直ちに消し止めし爲め幸に別狀なかりき

◆先づ實際敎育 入學希望者の增加した 女子技藝學校

高等普通學校と同樣の現象は南大門の京城女子技藝學校に於ても見る事が出來る即ち昨年の四月末日の入學生徒數七十四名に對し本年は三月二十八日迄に申込八十五名に達し尙四月末迄には三十名位の

◇◇增加 を見る見込である之は云ふ迄もなく女子には迂遠なる高等女學校敎育よりも實際に早く役立つ家事裁縫を修得させて置く方が得策だと云ふ事を一般が認めたからであらう殊に別科として設けてある裁縫部は學歷を問はず滿十五歲以上の女子を入學せしめる事になつて從來小學校さへ卒業しない者の入學

◇◇希望 が多かつたが本年は高等小學を卒へ本科二年生に入學の資格があるにも拘らず別科入學を志望して來る者が多いさうである尙同校では四月五日入學式を擧行する事になつて居るので志願者はそれ迄に願書を差出すが便宜であると

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

▲物は付『無くてよいものは』

○飛行機の道(一等) 京州中之町 中島淸風
○居候のひげ 御成町 角爲坊
○婦人の强(先着) 開城 林光生
○參謀服の金筋 平南 松井生
○十六萬八千圓の茶碗 京城 宮田勇角生
○落第生から見た卒業式 京城 浪花生
○盲目に提燈 龍山 寫窓生
○(先着) 仁川 花扇

課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は雜誌と同形の用紙一枚毎に雅號又は本名の外に住所氏名を明記の事▲一等[illegible]

商況

東京期米特電 二十九日後場 [illegible]

兵庫期米 [illegible]

大阪株式特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報 [illegible]

◉三品高氣配 前氣配は三[illegible]

◉正米軟弱脫合 軟弱の傾向 十錢安 全然脫合 [illegible]

◉牛皮頓挫 多少低落 約五六圓 不引合 [illegible]

餘萬斤に達し約定品四十[illegible] 換金の仕拂困 大紛擾を釀し 大部分爲[illegible] 餘沫の及ぶ處少[illegible]

◉內地製粉波瀾 [illegible]

活況 市場漸次 [illegible] 意外 告空の實影 [illegible]

◉製茶は裾物高 裾物は目先猶一段高走 [illegible]

◉雜穀弱保合 商內又閑散 [illegible]

下關相場 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

仁川正米 依然買見送 [illegible]

釜山穀物(廿八日) [illegible]

仁川期米 二十九日前場 下濫る

▲第一節 [illegible] 先二十一圓九十三錢と三錢安 [illegible] 大阪三節十五錢と暴落移 [illegible]

▲當限納會ず 生安値に崩 [illegible]

市場雜觀 受渡高約一萬石 十錢と新高値に沸騰 二十一圓五 [illegible]

大阪の成行 保合下岐 [illegible] 存外下 [illegible] 二十六圓六 三錢は天井見 [illegible]

仁川米豆取引所 二十九日の五月限 [illegible]

北濱だより [illegible]

馬鈴薯 種子食用 は長崎赤に限る不日多數着荷御入用の方は至急御用命を乞ふ 大田本町一丁目 本田支店

大阪期米 二十九日後場 [illegible]

天氣 大くもり 但小雨 [illegible]

●セミヨノフ大尉で名高き

滿洲里の土産話（二）

◆蒙古の王様から漁業權を貰つた日本人◆

◆滿洲里居留民會長　安生氏談◆

◆滿目荒凉の天地は化して六月頃から可愛い野の花が咲く◆

此のはなしは滿洲里居留民會長安生氏が京城の人の來訪でのお土産話である

滿洲里は御承知の通り純粹の蒙古地帶です、哈爾賓から東滿線で三十餘時間、興安嶺を越ねますと沿道に松の林などが見ねます、興安嶺には樹木が繁つて居りますがそれから先きはモウ眼路の限りの大野原、所々に蒙古人の天幕が見ゆます、滿洲里には露西亞の商人が澤山居ります、商人達は主に奥地から來る蒙古人を相手に、いろんな商賣を致します、私の店も蒙古人と物々交換の取引をして居ます

北方から賣る品は ◆砂糖菓子なぞから喜ぶ◆

ありますが主に日本産のお茶を賣ります、お茶はあの煉瓦のやうになつた磚茶と申すのでございますが、これを蒙古人の毛皮と交換いたします、店には澤山の露西亞人を使ひ蒙古の奥地方々へ出張所を設けて居ります、滿洲里の近所には地圖で御案內の呼倫池といふ湖があります、宅の主人は蒙古の王様から漁業權を貰つて此處で漁業を致して居ります、湖は周圍七十里、ザット日本の琵琶湖より十里ばかり長く遙かに向ふ岸を望みますと陸地は水平線にかくれて見ねない位ゐです、魚類は鯉、鮒、鯰などの巨大なものが網にかゝりますが夏は運搬に不便ですから滿洲に放ち冬になつて石のやうに凍つたものを西伯利亞や滿洲へ送り出します、尤も冬期でも五六尺の堅氷を破つてその下に網を曳くともございます、呼倫池はまた河の流れによつて貝爾池の湖につゞいて居ります

氣候は嚴冬で零下 ◆四十度雪は五六月に◆

消ねて秋の九月頃からまた白くなります、草は六月にならねば青みませぬが花時分には蓮蒲のやうな小さい野花が毛氈のやうに野を蔽ひます、住めば都で蒙古人の歌も聽馴れて懷かしく思はれます、それにあちらでは滿洲ほどに馬賊や強盗の噂を聞きません、私の店にもいつか三四人組の盗人が硝子戸を破つて這入りかけましたが當方で眼を覺ましましたから逃げ出しました、滿洲里は兎も角も蒙古との貿易地となつて居ります、貿易は

主に露語ばかり ◆蒙古人さへ露語を用ひて◆

防寒建築案發表延期

我社曩きに防寒建築案の懸賞募集を發表し豫定の三月十五日を以て締切りと致候處、幸にして平面圖、正面圖、設計說明書等を具備せる專門的投稿數壹百四部の多數に上り審査並上應募原稿の堆きを看るに至り加之も應募者諸氏の住所地域が朝鮮全道に亘り猶ほ南北滿洲の要市と內地の幾部をも含み居るは畢竟一は防寒建築案の研究が大陸發展の氣運旺盛なる現下最も研究を要する當面の緊急問題なる事と一は建築界從業の專門家諸士が熱誠罩めたる賛同の結果と存じ我社の欣幸之に過ぎずと致す處に御座候

然るに斯の如く精細緻密にして總て專門的の投稿一百餘部を完全に審査決定し發表に至る迄には案外の日子を要し猶審査員諸賢側に於ても確かに投稿者諸氏の誠意熱心を諒とせられ一層愼重審議せんものとの御厚情も有之、今一つは審査員中二三旅行中の方もあり到底豫定の四月一日を以て發表する事は不可能と相成乍遺憾茲に若干日發表延期を斷行せざる可らざる仕儀と相成り多數應募者各位を始め一般讀者に謹告の次第に御座候。追而確定發表期日の見當相つき候節は直ちに再び紙上社告を以て御報道可申候に付何卒右樣御承知願度候。

京城日報社

●ルーブル紙幣

騰るか下るか

强弱兩面の觀測

近時八百二十留臺の露貨が一躍三百臺に跳返し其れが一時の現象とのみ思ひ居たりしに高値は依然として持續し昨今寧ろ尙强硬の氣配に煽られ居る狀態に在り斯くの如く留の暴騰は何人も豫期せざる案外の結果を生じ財界の中心とも稱せらるゝ銀行業者に於てすら今日尙此の昂騰の仍て來れる的確なる原因を促ふる能はず經濟界は

只啞然として 不思議也となすに止れる次第なり此の低の高値を現せる露貨相場の經濟界に與へたる影響は大にして現に東支鐵道の南部支線貨車吸收によりて以て多量の北滿大豆南下輸送を見んとせる矢先き暴騰せる露貨は遂に東支運賃率に大影響を來し折角の南下大豆も其れが爲一時採算上引合はずとあつて運送の見合をなす者多く其の結果は期限物の約定品に大支障を生じ非常なる損害を蒙りたる特產物商（邦商）多數を算するに至れり抑も露貨の前途たるや多少世情に通じ居る多くの邦人は何れも先弱なりし結果は銀劍貿質の上にだても邦人の賣に對する支那人の强氣の買となりて來るべき

受渡期日の波瀾 今より懸念さるゝものあり、されば長春を中心とせる附近一帶哈爾賓等は寄ると障ると必ず露貨問題の持切と云ふ有樣を呈せり露貨の强氣說を持する者は曰く最近東京日露協會より露貨三百卅五留替を以て引受くべしとて去月來より哈爾賓及び長春市場に手持にて困り居る邦商に向け照會し來れるあり一方米國は此の安く露貨を以て商品の景品として顧客に與へ居る商人多數ある結果上海天津等の手によりて多額の留を買收し米本國に輸送し居るあり、尙最近最も

確實なる强氣の 原因は露獨講和により以て今日迄閉鎖せられ居たる露獨國境は撤退せられ茲に露獨交通貿易は自由となり爲めに極限せられたる留の通用區域は擴大せられ遂には各市場現物品薄となる結果は當然市價は的上り高價を現すは必然なりと云ふにあり又一方先弱の說を吐く者は曰く抑も國其のものゝ貨幣が各國市場に出て市價の高下を示すは要するに其の國の國情及び財政の基礎如何によりて定るものなり、然るに現今の露國は如何、國は極度に亂れ財政の基礎は破壞せられ紙幣は何等の準備金なくして無制限に亂發せらるゝにあらずや、されば國家の財政定らざる以上は如何に通用區域擴大せらるゝも或は一時市場に現物の減少を見るもそは一時の現象にして其の如きが

決して永遠に 市價の支持する事無し

要するに露國の內治整ひて財政の基礎强固とならざる以上決して安堵すべきにあらず、故に今日の市價は一時氣迷相場とも稱すべく先弱なる事勿論なりと、之れ何れの言が適中すべきや未だ俄に何れの論據を採るべきにも至らざるが兎に角現今の露貨相場は北滿及び東露市場を迷霧の中に陷れ居るものと云ふべし（長春）

●奉天軍充實す

奉天督軍張作霖氏は豫て師團增設の希望ありて果さざりし折柄近來の南征及び北邊防備の急に乘じ遂に第三十師、第卅一師の二師增設を決行することゝなり過般來省內各地に於て新兵募集中なるところ昨今是等の募兵稍々緖に就き本月廿五日は又復開原、鐵嶺、彰武縣地方にて募集の四箇營來著し且つ遼西方面にて募集せる新兵六百餘名も同日北鎭より來著し、諸々二個師團の兵員增設充實するに至れり因に之れに伴ふ軍資は過般の奉省地方官會議にて協議纏りたるものゝ如く之れにて奉天軍の兵力は支那各地督軍中隨一のものとなれる次第なり

●露亞銀行活動

東支鐵道と露亞銀行とは從來より密接の關係ある處より過般東支線沿道に於て露貨に代はるべき紙幣を露亞銀行によりて發行せむなぞと傳へられたるが最近に於て在上海の同行總辨及び浦鹽同行支店長並に長春同行支店長等哈爾賓に集合し東支鐵道のホルワット長官を中心に何事か頻に協議を遂げ居れるが巷間傳ふる處によれば最近東支鐵道の經營難に多大の不足を生ずると同時に露亞銀行に於ても昨今殆ど營業休止の狀態に在れば此の際双方の爲に特別の方法を講ずるの急務なるを覺り東支鐵道と露亞銀行とをして何事か大に畫策する所あらしめ近く何ものかの形體によりて現實せらるゝに至るべしと云ふ

●太古以來の

密林天日を掩ふ

◆惜らくは輸送の便なきを◆

◆三萬町歩に亘れる大森林◆

營林廠の伐木事業は木材の需要增加に伴ひ年々盛況を呈し居れるが伐木地より豆滿江及び鴨綠江岸に冬期氷上を牛馬に據り搬出され江岸より水流により流筏とし新義州若しくは咸北沿海洲に廻漕され內地より需要地へ供給されつゝあるが咸鏡南道の奥地なる新興郡豐山郡に亘れる針葉樹、長津郡甲山地方に亘りては針濶葉樹混生の密林天日を遮り太古以來斧鉞の入らざる處女林は三百萬町歩の地積を占むれども交通の不利なるは徒らに腐朽に委すのみなれば若し運搬の途開けんか木材の供給は更に多からんといふ

●露領の鰊漁季

例年露領の鰊漁期に入れば之が買出の爲め露貨の需要增加するより漁船の集中地たる淸津の露貨相場は騰貴するを常とせるが本年も三月に入りて需要を喚起するや露獨講和に原因する露貨留の暴騰に乘じて一層の奔騰を來し月初二十錢內外なりしもの次第に騰貴して十八日には三十五錢てふ空前の相場を現はせり其後幾分低落せるも尙ほ二十七八錢の相場を唱へ居れるより昨今留の買ひ活況を呈せり尙ほ露買出漁船は一隻二千留乃至三千留の資金を携帶し赴くや此の資金は淸津新岩洞の鮮人問屋と鰊の取引を契約して調達するものなるが鰊漁期中の留需要高は數十萬留に達せん（淸津）

●防穀令と北鮮

吉林省防穀令に依る域外輸出を禁止されありし間島の商業は今回解禁と共に小麥大豆等と共に鮮地に出廻るもの多く相場は昨今間島にて石五圓七八十錢を唱へ居れるが漸次騰貴の趨勢にあり而して本品の間島輸出可能力は約十五萬石に達すべき豫想にて大部分は淸津に出廻り更に北鮮各沿岸に仕向けられ鮮人の食料に需要さるゝものゝ如し（淸津）

●曹達取引紛擾

東蒙古より產出する天然曹達の採取權を一手に引受け居れる支那側の天惠公司と邦人の三國公司との間に一手販賣の契約を締結せるに今回三國公司が引取べき一萬餘袋の曹達を大連鈴木商店に轉賣し愈々現品と現金との受渡しとなれる際三國公司が約束を履行せざるとかにて天惠公司より我が領事館に訴へ出で紛擾を生じ居れるが領事は兩者間に妥協せしめんと斡旋中なりと云ふ（長春）

●苹果の害蟲　慶尙北道にて

は大正五年春期に於て經費三千五百七十餘圓を投じて大々的に苹果の害蟲驅除を行ひたる上昨大正六年春期更に七百四十餘圓の經費を投じて再び之を實施したるが其の結果良好なりしに依り本年度に於ても本月二十日より四月十日迄の間に於て之を實施すべく各苹果栽培者に夫々注意せりと云ふ

春の安東縣

N生

◆眠りより醒めて活動季に

◆行交ふジャンク

◆茲に日本一のスケート好適地◆

●春色動く　本月十五日より日の旅行約十日を移へて歸安すれば安東の春色漸く動き道行く人の面にも何處となく長閑に而かも生氣の潑剌を認めずんばあらず候

●開閉橋　春色漸く動かんとすれば鴨江の結氷先づ融解し名物の開閉橋は眠りより醒めて活動の本能を示し上下する戎克の眼前に勞働し來り申候

●ヂャンク　昨冬より冬眠に入れる鴨江は今や長夜の眠りより目醒め戎克の往復、流筏の繁忙を見る正に目睫の間にあり、戎克の來往の繁閑と安東の活動如何とは常に正比例し帆檣林立せる安東の埠頭を見ば直ちに活動の自然的なるを想見して可、是れ即ち安東を表徵する戎克にして而かも其の誇りなるべくと存候

●安東の誇　木材、柞蠶及び大豆は安東の三大誇りとするに足ると共に鴨江に於ける氷滑と鐵橋とは亦た或る意味に於ける安東の三大誇ならずんばあらざるべしと存じ候

●スケート　冬期に於ける唯一の運動競技はスケートに若かざるべく而して其の好スケート場は遺憾ながら日本の勢力圈內に於て鴨江の右に出づるもの有之まじく、此の意味に於て安東は鴨江によつて日本第一の名を擅にするを得居る次第にて候

見習文撰工募集

年齢十四歳以上十六歳迄の內地人男子にして尋常小學校卒業程度の者五名見習文撰工として採用す希望者は自筆履歷書を携帶本社經理部へ申込まれたし

京城日報社

演藝案內

大正館　櫻井町　電話八七一

黃金館　電話二三六六・二三六七

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇

壽館　京城本町　電話一〇五〇

壽座　京城壽町　電話七八

有樂館　電話二〇〇

星印ソース

今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる

本品は其品質に於て實に斯界の明星なり　ソース界の明星なり

全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す

發賣元　大阪市　祭原伊太郎

◎營業品
一、日本杉足場丸太　三間以上六間以下各種現品多數有之候
各沿線に於て御入用の方は釜山驛店御照會に依り何時にても發送可仕候
一、杉皮　輕便屋根葺材料
土用に居葺用として至極便利德用に御座候數萬坪在庫品あり
一、車輪用材
一、鮮松丸太並に各種挽材
一、建築材料一式
京城岡崎町
允三幸洋行
電話長二八〇〇番　振替京城三一九五番

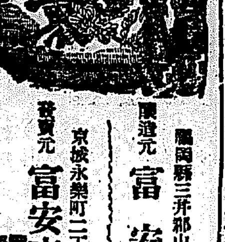
天野家畜病院

男の生殖器病

專賣特許眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器疾患淋病等は容易に治す

東京神田かぢ町五番　電話神田七三三番
眞空療法研究所

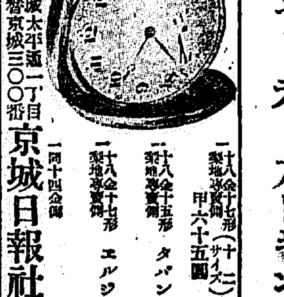
優等淸酒



醸造元　福岡縣三井郡山川村　富安本店
發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店
電話四一〇三　振替口座四三三九番
林賣御斷り

業務繼承廣告

弊商會儀從來故ウォルターデタウンセンド氏の遺言に據り今般全業務を拙者に於て繼承致す事と相成候間不相變御愛顧御引立の程偏に奉願上候
タウンセンド商會
ゼーデー、アトキンソン



一十八金十七形（十二サイズ）アメリカウオルサム會社特製側入　甲六十五圓　乙五十五圓
一十八金十五形　タバンス會社製　金四十五圓
一十八金十七形　エルジン會社製　金四十五圓
一同十四金側　金三十八圓
賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

組織變更御披露

弊店創業者兼松房治郎氏沒後合資會社組織ニテ營業罷在候處今回組織相改メ資本金貳百萬圓全額拂込濟ノ株式會社トシ四月一日ヨリ繼承營業仕候尤モ從來ノ主義方針ハ勿論從業者其他內容一切毫モ變更無之候間不相變御眷顧願上候

大正七年三月

株式會社　兼松商店
本店　神戶市海岸通三丁目二番屋敷
東京支店　麴町區有樂町一丁目一番地
濠洲支店　シドニー市オッコンネル街八番地

外科　花柳病
內科　小兒科
婦人科
宮崎醫院
京城南山町二丁目　電話三〇六八番

營業品目
肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉
星印配合肥料、細工用地骨
細工用蹄角各種膠及膠原料
朝鮮肥料製造所
京城東大門外紅葉町　電話二六三五

石鹼部
化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼
牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
朝日石鹼製造所
京城岡崎町一四番地　電話二五九六　電話二七〇四　振替口座京城〇〇四番

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第三十席

若狹屋四郎兵衛の因業な挨拶を聞いて小太郎 小『イヤ其れは尤も千萬、今更改約といふことも面倒ではあらうが其處を拙者が枉て頼む、何うか當方に身請をさして貰ひたい 四『折角のお頼みではございますが岩成樣から三百兩といふ金子をお貰ひ申してあり今更變更をする譯には參りません、第一與に岩成樣の御家來で進藤三彌と仰しやる方が來てお出で、照代の居所が知れるまでは動かねと仰しやつて居らつしやるお金を頂戴すれば照代は先樣のもの主人だからといつて私の自由には參りません、お氣の毒でございますがお斷り申します、斷りして承はれば照代を助けて實家へ送り屆けたと仰しやつたが一體誰にお斷りなすつてお連れなすつた、大金を出して抱へた女を勝手氣儘に連れ出して身請をしたいなんといつてよくお出なさる、表向にすれば誘拐も同樣で……』小『默れ、誘拐とは怪しからん事を申す、女は鞍馬通妙覺寺門前に居る實父の許に送り屆けて置いたと明白に申したではないか何のかを以つて誘拐なぞいふ事を分けて申すことを肯入れぬ其方こそ女を餌に利慾を貪ぼる非道な奴、强て肯入れんとあれば此方にも考へがある 四『之りやア面白い、岩成樣へ差上げるのは私共の勝手、それをお前さんに兎や角う言はれるやうな弱い尻はねえ、サア悟うたりやアお前さんが歸ると云つても此方で歸さねえ大方お前さんも女を種に一狂言書くつもりで來たんだらうが生憎此方には荒神樣がついて居らア、女を綺麗に繃取までは其處を一寸も立たせねえからさう思へ 小『無禮な奴だ、若年と侮つて四の五のと申すと手は見せぬぞ 四『何を吐しやアがるんだ、コウ若狹屋四郎兵衛といつちやア木屋町で少しは人に忌がられて居る人間だ、青二才に强面で脅かされて指を匡へて引込んぢやア世間へ面出しが出來ねえ、當時天下の執權職三好三黨の中で一番の巾利き岩成主税之介樣が後楯だ、指でもさして見やアがれ、手前の首は胴についちやア居ねえぞ 小『何を』小太郎沸然と怒つて一刀を引付ける、四郎兵衛も一足退がつて身構へる所へ間の襖をサツト開けて入つて來た一人の武士 武『四郎兵衛靜かに致せ、アイヤ拙者は岩成の家來進藤三彌と申すもの委細の事は次の間で承はつたが穏やかに一つお話を願ふ、お互に高聲になつては主人の名前も自然出で世の聞えも如何、拙者代つてお話をいたすお鎭まり下さるやう 小『イヤ之れは初めて御意を得る、拙者は常陸浪人仁科與四郎と申す者、御とあれば重ねては申さんが何も拙者も事を好む譯ではござらん何を申すも照代の父は老體でいひ殊に兩眼不自由の者、勤奉公をいたし居るさへ不憫なるに其上岩成殿の寵愛を受けるやうになつては籠中の鳥に等しく父の介抱も出來ねと申す孝女の心察するに餘りあり依つて拙者が身代金を償ひ身請をいたし親許へ戾し遣はしたいと思ひ御主人にお頼み申したる處御承引なく武士に向つて存外の一言彼是言募つて斯の通りの次第御肯入下さらば決して拙者の方で荒立てる仔細もござらん 三『御尤とも、主人岩成も一旦申出したる事は横に車を押通すごとき無理な事もいたす氣性、忌がる女を無理にと申す中に入つた拙者も當惑いたして居るが何を申すも主人の命令據なく當家へ參つて居るやうなものゝ事情を承はれば氣の毒千萬、折角御出下されたる御親切、尊公の義俠に對しても此儘先約なればとて無理に女も引取れまい、宜しうござる何とか主人の方へは拙者が取計らうことにいたすに依つて照代は尊公の顔を立てお渡し申すことにいたさう』と案外分りの早い進藤三彌の一言そも此男は善か惡か、

靜養中の處 從來通診察仕候
旭町一丁目一九七
内科 小兒科 醫學士 小林千壽
電話六九二番

三月卅一日九星 舊二月十九日丁丑 木命八白 艮 開 友引

[illegible]

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御註文は代金引換にて送呈

京城本町二丁目 京城銀行前
三浦天龍堂

妊娠十ヶ月の養生

一體お産は生理的のもので病氣ではないが、個々妊娠中の養生を怠つた爲めに難くも流産したり、お産が重くて家人を騒がせたり幸ひ無事にお産が濟んでも生れた赤子は非常に弱くて行末が案じられる樣な場合が往々にあるから、妊娠中の養生は甚だ深い注意が入るのであるから以下少しく妊娠各月の養生法を説いて見やう

第一月 妊娠したからつて急に其生活法を改めるに及ばないイヤ急に生活法を變へると却つて害になるから身體に別に異狀が無い樣であつたら餘り無理と思ふことの外は其まゝにして幾分か加減するといふ風にすればよい

第二月 此月になると神經過敏の妊婦では種々の症狀が現はれるから特に食物と衣服に注意せねばならぬ食物はなるべく滋養あり且つ消化し易いものがよい妊婦は身體を冷やすのは甚だよろしくないから時候に應じていつも少し溫かにし殊に腹、腰、足などは溫かにして置かねばならぬそれに付ては保溫に効ある中將湯を飲むのは勿論よろしい

第三月 流産の一番多いのは此月であるから餘程の注意が入るのであるとして旅行は汽車旅行に限らず人力車でも馬車でもよろしくない此月の旅行は往々流産の原因となるからである其他重い物を持つたり二階に上り下りしたり長く洗濯したりキツイ裁縫を無理に續けたり高い處に手を擧げたりするのはよろしくない又妊娠二三ヶ月から惡阻といつて胸が惡るくて食物を吐き出し重いのになると飲み食ひもせぬに吐き[illegible]遂に死に至るものがあるから惡阻は[illegible]たなどゝいつて放つて置くのは危險な話であるから惡阻の症狀が現はれたら中將湯を飲んで見るがよい中將湯は惡阻に非常な効がある

第四月 此月もまた第三月と同じイキム運動ユサブル運動や旅行は禁物であるソーカと云つて天氣のよい日の郊外散歩や近所への[illegible]を事に來てもいけないといふ意味でないそれから妊娠といふものは精神の感動が強くなつて平生なら笑つて濟むことも妙に障つたり他人から見れば何でもない事が氣に障つたりする樣な具合であるから周圍の者も[illegible]

第五月 此月になれば流産は割合に少なくなるから別に異狀が無かつたら少し位の旅行は差支はないが併し仕合のテコボコ道を人力車で通すなどは勿論いけない[illegible]は此月から始めるがよいがこれは胎兒を正しい地位に保たせ胎兒があまり肥り過ぎない樣にする目的の外に腹部を冷さず暖かに保つ爲めであるから産前に保溫の効ある中將湯を飲むがよいといふ理由も是れで分るのである

第六月 此月は旅行運動によつて起る流産の一番危險の少ない時であるから何うしても旅行をせねばならぬ事情があつたら此月を選ぶがよい清潔といふことも妊婦には必要なことで此月から始めるのでなく妊娠早々から心懸けねばならぬ併して妊娠中は局部の分泌物が多くなり陰門外や陰部等に冒されやすいから隔日位に入浴するなり[illegible]のヌルマ湯で膣洗を使ふなりして局部を清潔にして置かねばならぬ

第七月 此月になつたらもア旅行はせない方が安全である併し小人數の家族や一時間二時間の散歩は差支なきのみならず却つて奨勵したいのである食物は消化のよいものを選び又身體に局部は清潔を保ちまた便秘せぬやう注意すべきである それから特に初産の人は産科専門醫を呼び胎兒の位置を診て貰ふがよいのである

第八月 此月からして妊婦に往々浮腫が來るが世上一般の人は産前の浮腫なら別に心配は入らないお産をすれば獨りで治ると平氣で居るものがあるけれども産前の浮腫を打捨て置いた爲めに手術や手後の爲めにお産の時子供を産まずに死んだ人が澤山にある浮腫は血液の循環が妨げられて水氣を來すのですから此の場合には血液の循環を[illegible]浮腫が下肢に來るものは胎兒が下つて血管を壓迫して[illegible]よくする中將湯を續けて飲めば自然水氣も引き下から次に腰から上に來る浮腫は入浴[illegible]必ず[illegible]から來るので甚だ危險の[illegible]を帶びて居るからこれは醫者の治療を受けるが安全である

第九月 此月までは割合運動といふことを勸めたいのであるが[illegible]八ヶ月間奨勵つたが此月に於ける妊婦は[illegible]して運動が不足するものであるから入浴の[illegible]にて[illegible]運動不足を補ふ方法として[illegible]

第十月 此月になると妊婦は時眼[illegible]れる爲めに胎兒の位置が[illegible]又[illegible]

[illegible]

お知らせ!

目の醒めるやうな
美しい袋に入つてゐる

ライオン齒磨 新製中袋入は

分量も豊富、お値段も恰好といふので、昨今非常に賣れて居ります。

ライオン齒磨本舗 小林富次郎
(903-7)

大日本政府 登録商標
"PINE"

愈々書き具合
能しとの定評を得たる
パイン万年筆

萬年筆の眞價は
パインを除き他に知るべからず

特許既明防破装置附

操出式萬年筆	金六圓八十錢
押出式紳士向	金五圓三十錢
インキ止式婦人用	金三圓八十錢
インキ止式短軸	金四圓九十錢
インキ止式實用向	金三圓八十錢
パイン學生號	金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用)	金一圓九十五錢

不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

□發賣元 京城日報社代理部
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

尼崎汽船 仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
神代丸 三月 日後四時出
秀吉丸 三月卅一日後四時出
君代丸 三月 日後四時出
大有丸 三月 日後四時出
仁川港通三丁目 電話五十九番 尚杉回漕部

日本郵船 仁川出帆
○大連行、天津行
相模丸 三月二十九日
三河丸 三月卅日 正午出
高砂丸 三月卅一日
仁川海岸町十丁目 電話四十番 堀回漕部

共同汽船 仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸 四月一日午後八時出
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 郵口商會
元山代理店
京城代理店 河村運送店

大阪商船株式會社 仁川出帆廣告
神戸大阪行(群山寄港)
須磨丸 三月廿八日後五時出
日清丸 三月卅一日後五時出
南部丸 四月十三日後五時出
×安東丸 三月二日正午出
木浦、釜山、羅津、長崎行
×安東丸 三月 日正午出
南部丸 四月二日後二時出
元山出帆
西湖津城津新浦行 宮島丸 三月二十八日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 三月廿七日後九時
大連出帆
上海、基隆、打狗行 湖北丸 四月十三日前六時出 基隆丸 四月十六日後四時出
南米行 毎月一回
北米行 毎月一回
南洋行 毎月二回
内地各港出帆主要航路
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇三番

朝鮮郵船 出帆
本社 京城 電話一九三三番
釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店

[illegible]

汽車
京釜線(南行) [illegible]
同(北行) [illegible]
湖南線(南行) [illegible]
同(北行) [illegible]
京義線(北行) [illegible]
同(南行) [illegible]
京仁線(仁川行) [illegible]
京元線(北行) [illegible]
同(南行) [illegible]

(年中無休刊 祭日翌日休刊) 大正七年三月三十日 THE KEIJO NIPPO (大正五年九月十八日第三種郵便物認可) 第三千七百七十八號 (一)

第五版

京城日報

三十日朝刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月[illegible] ▲三ヶ月[illegible] ▲六ヶ月[illegible]
廣告料金 ▲五號七字詰一行六十錢 ▲四號十字詰一行一圓六十錢 ▲三號十字詰一行二圓四十錢 ▲六號廿字詰一行一圓二十錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 (編輯)[illegible] (營業)[illegible] 振替貯金口座京城[illegible]

[illegible]而の損害に始まり而かも其損害は[illegible]來に亙り開戰以來最も大なる賣國事件として世の視聽を集めたることは茲に述ぶるを要せず當時快漢ボユウェルトは白耳義人と稱するも[illegible]手掛を得たり

▲買持三百萬弗 羊毛商シ[illegible]

此一派の最初の目的は封鎖を突破して羊毛を獨逸に送るに在り、開戰の當初二回に亙りて獨逸に[illegible]め彼等が買溜めたる羊毛は三百萬弗乃至三百萬弗に上ると稱せらる[illegible]るも何ほ其活動は著しく阻害せられたり、一方羊毛の相場は著しく[illegible]足るべし以上の記述は米國新聞に現はれたる所を紹介したることを特に附記す(東京)

▲獨商活躍の一例 米國奔譟せるより彼等は茲に三度目的[illegible]

[illegible]不正漁業中を逮捕され檢事局送り

遊支偶録

蘇峰生

(六七) 回教徒 (二)

回教徒の多數は、西域の移住者也。彼等の容貌は、尋常の漢人種と同じからず。其の深目、隆鼻にして、顴骨の高張したる、蓋し突厥人の風丰あり。固より彼等は回教徒として、支那に來りたるものにして、云はゞ先祖代々回教の固守者にして、回教の改宗者にあらず。或は漢人種にして、然かしたる者もあらむ。されど是れ其の主體にあらざる可し。

凡ての宗教を利用したる、康熙帝は、回教徒に向ても、其の宗教を崇重して、其の驩心を繋げり。何れの回教寺院にも、概ね康熙帝、若しくは雍正帝の勅額、若しくは上諭を揭げ居るを見て、其の一斑を知る可し。支那に於ては、唐の武宗の佛教迫害以來、殆んど宗教的迫害なきが如し。然も回教徒は、支那に於ては、何となく特殊部落の待遇を受けつゝあり。

勿論回教徒にして、仕て高官、大僚となり得たる者なきにあらず。されど其の仕途の困難なるは、今より一百年前、英國に於ける舊教徒の比ならむ歟。其の多數は、概ね屠者、運搬業者、馬夫、輿丁の類なるが如し。予等一行の泰山に上りし際の如き、其の面目異常にして、其の骨格の逞ましき者共に就て問へば、何れも其の先は西域人にして、回教徒なりと答へり。而して偶ま菓子を與ふるも、謝して受けざる也。乃ち輿丁さへも、彼等宗門の戒律を守りつゝあり。如何に其の宗教が腐敗するにせよ、少くとも支那に於ける、他の宗教に比して、其の活力の若干を保持しつゝあるは、誣ふ可らざるの事實たるが如し。

新疆に於ける回匪の亂は、幸ひに左宗棠によりて平げられたるも、其の兇焔の猛烈なりしを懐へば、如何に回教徒の勇敢なりしを、想はずんばあらず。予は全然無宗教國の觀ある支那に於て、回教あるを見て、聊か沙漠中に美林、嘉蔭あるを見出したるの感なき能はず。

今期議會の成績 (下)

一記一

◎顧つて大正七年度一般會計豫算を見るに、適切妥當にして、内閣が抱懐せる財政上の方針頗る首肯すべきものあり、歳入豫算中、經常部に屬する第一號より第四號に至る追加豫算を加へて六億四千二百六十八萬圓臨時部に屬するもの、同じく追加豫算を合せて一億八千六百六十一萬圓總計八億二千三百三十萬圓、之を大正六年度に於ける實行、追加兩豫算の合計に比し、八千二百餘萬圓の增加を示せるが、政府の原案は國家財政の原則に據り、兼ねて社會政策の急須に應ずべく、一方新税を起し增税を計ると同時に、他方惡税、不良税の減廢を企圖せり、議會の强要するに會し、廢減税を遂行する能はざりしと雖も、議會は其主義を認め、國民亦之を是稱せり、而かも戰時利得税の新設、酒税法、所得税法其他の改正に依て國防計畫を進むるを得せしむる議會の態度亦穩健なりと稱すべし

◎次に歳出豫算に於ては、經常部四億七千八百五十九萬圓、臨時部三億四千三百二十一萬圓にして、兩者の差一億三千五百餘萬圓に過ぎず、亦以て政府の施爲多端なるを見るべし、各省別豫算中、六年度に比して增額の著しきは、經常部に於て文部省の一千八十四萬圓(市町村立小學校教員俸給國庫負擔の爲め)を最とし、遞信省の八百七十六萬圓之に次ぎ、臨時部に於ては海軍省の二千八百九十九萬圓最も多く、次は農商務省の一千三百十九圓なりとす、蓋し國防と教育と産業とに對する現内閣が努力の程を知るに足れりとせん、而して議會の之を協贊せるは國民の要望に副へるものならずして何ぞ、世上兎角の説はあれども、吾人は今期議會に於て、我が代議政治發達の跡を認め得たるを欣ぶ、若夫れ物價騰貴を告げ、特に竹の園生の彌榮はますます伴はれ、當然增すべき皇室費の、前年度のまゝに据置かれたるに至りては、叡慮のほど拜察するだに畏し、國民は勤儉業を勵み、聖恩に報い奉らざる可からず。

鮮人の近状 (二)

北滿及西伯利在住

哈爾賓に來住する鮮人中には近年鴉片の密賣を爲す者が多い、此徒は沿海州から持つて來て哈市々外の傅家甸に於て支那人に賣付ける由であれば、天津上海邊迄出懸けて密賣する者もある、苦々しき次第であるが、眞面目な鮮人は數年前から共濟會なるものを設け、我總領事館の認可を得て鮮人間にて應分の資金を醵集し、赤貧者や病者を救濟の法を講じて居る、鮮人醫師李珍玉氏が會長と成つて能く世話をして居る、此人は我總領事館保護の下に鮮人間に於ける公共の事を一手で引受け處理しつゝあるので鮮人の信用も篤い、昨年私費一千留を投じ別に一千三百留を公募して鮮人子弟の爲めに、小學程度の私塾を同市スクウオズナヤ街に設立し、男女三十名の生徒を敎育して居たが經費が續かないので廢止したが李氏は再興を心懸けて居る

▼其他 前記長春、哈爾賓の外東清鐵道附屬地及び隣接村落に居住せる鮮人の人口及び其業態は左の通りである、

一、双城堡(長春哈爾賓間東清鐵道附屬地内)男九十八、女二十合計百十八人
一、滿洲里、海拉爾、博克圖(哈爾賓滿洲里間同上)男九十、女六合計九十六人
一、穆稜、細鱗河、小綏芬、ボグラニーチャナ驛、一面坡、横道河子(哈爾賓ボグラニーチャナ間)同上男七百八十、女二百六十七合計一千四十七人
一、鐵道線路外甯古塔(吉林)三岔口(同上)湯源縣(同上)八面屯(同上)東村(同上)白泡子(同上)北村(同上)老嘉陰河(同上)梧桐河(同上)蔴安府(同上)三姓(同上)賓縣鎭(黑龍江)温河鎭(同上)に於て合計男六千六百十五、同女一千五百一總計八千百十六人
一、愛琿、呼瑪縣、盤發屯、呼倫湖漁場其他北滿黑龍江沿岸に於て男四百五、女十九合計四百二十四人

右各地に居住せる鮮人の職業は前にも記した通り鐵道附屬地を離れて村落に住へる者は多くは農業に從事し、中には罌粟を栽培して鴉片を製造する者もある、黑龍江省の各地に住へる者の多くは金坑の坑夫其他の業に服し、唯甯古塔、三姓及び小綏芬在住者中には商業を營める者がある

小説戲曲一斑 (一)

於京城俱樂部 今關天彭氏談

支那では漢の武帝の時に董仲舒といふ學者の獻策を用ひて、儒敎を以て朝廷の學問とし、これによつて官吏を登用した。この儒敎といふのは、所謂る五倫五常の敎を以て學問の根柢として居ることは、諸君の已に御承知の通りである。然るに支那小説として面白いと云ふのは、空想を本として、それにいろいろの趣味ある事柄をつけ加へ、讀む人をして知らず識らずの中に、その中へ釣りこまれて、欣んだり悲しんだり、又恨んだり腹を立つたりさせるところにあるのである。だが斯樣の事は儒敎の餘り好まぬところである、イナ假空の事に托して自由自在な奔放な思想を書き綴るのは、儒敎の眞面目な、規律的な、常識的な側から見ると、何だか非常に惡く見ゐる。そこで善良な女子供に惡習慣をつけたり、または善良な風俗に惡影響を及ぼすのは、皆この小説であるとして、手ひどく排斥せられて來たのである。然るに人の心は妙なもので、儒敎の敎ふる如き事柄は、極めて善い事柄であると云ふ事は誰れしも知らぬものはないのであるが、どうも心から面白いと思はれぬのである。たとへば勵勉力行は、まことに善い事ではあるがその間に何か面白いと思ふ心の慰みがない限りは、却つて思ひの外の結果が出來て來るやうな事が間あるのである。で漢の武帝は董仲舒の獻策を採用して儒敎を以て朝廷の學問としたのであるが、この時代から空想を以て面白い事を書き綴つた小説が、非常な勢を以て流行し出した。漢書の藝文志に小説家の數を數へて十五家を擧げその作つた小説の數を一千三百八十篇と數へて居る。この中で最も有名なるものは、虞初周說九百四十三篇である。この虞初と云ふのは當時の稗官の職を奉じた人の名である。稗官と云ふのは何であらうかと云ふと、下層の人民の實情を知るために置いた一種の編修官で虞初とはその編修官の一人であつたのである。後世になつて虞初新志など云ふ頗る流行した書物の名も、この虞初から來るのである。だがこの虞初の書いた小說は今日現存して居るものは一つもない。但し漢武時代の前後に出來た物は神異經、十洲記、武帝內傳、飛燕外傳などがある。これから晉、晉より南北朝、隋となり唐となる。唐に至つて小說は大に勃興し、有名なるものが多く出た。これは唐小說(書名)に收められて今日に殘つて居るものが寡くない。日本人の能く知つて居る遊仙窟なども其の一つである。宋、元、明、淸みな小說が流行し、その中元末の剪燈新話や、淸初の聊齋志異などは、最も流行したものである。但しこれ等の小說は、日本で云ふ所の物語類であつて、言葉も文章體であるし、書いてある事柄も上品なものであつて、品位を保つ紳士が閑なる時は一讀しても、何等差支へないものである。さりながら私が本夕お話し致さうと思ふところの小說は、諢詞小說即ち言文一致體の小說である。この諢詞は支那の學者から云はせると、學者の机邊に近づくべきものでないやうになつて居るのであるが、本夕私は支那の學者風の考へ方を一掃してこの諢詞小說をお話し致すことゝする。

錺(かざり)

布施生評

雪中聞鶴 安東 [illegible]雲
凍雲消散雪方晴。紅日瞳朧天地清。影自不看何所處。只聞鶴唳滿京城。
評曰、淸艷、靈絕、內地詩人所不能目觀也。

三十三

『難有い仕合』とお辭儀をするなり學士は一秒の猶豫もなく王の面前を下ると其儘引返して直に町子を伴れて出た、こんな事にならうかと推量つて學士は初から町子を馬車の中に忍ばせて來たのであつた。

學士の背後に跟いて俯向勝に這入つてきた町子の姿、王は一目見ると思はず感嘆の聲を揚げやうとした、氣がついて咽喉まで出懸つた聲はやつと喰止めたが眼はもう町子に注いだ儘で離れない、見れば見る程品格もあり容も整つて肉付豐に白い顏、涼しい眼、それが少し愁を帶びて古い形容ながら雨に惱める海棠とはよく言つたもの、王は傍に居る碧の方などは忘れて仕舞つて町家によくも此丈の美人が有つたものと不思議な掘出物でもしたやうな氣持になりながら町子が跪いて差出した願書を受取らうとする。途端に碧の方が妬を帶びた聲で『まあ奇麗な娘でございますこと、ほんに莨蕭様によく似た容色ぢやございませんか』突然に昔思を懸けた女の名を言はれて王は颯と顔を赤くして思はず願書を受取らうと差伸した手を引込めた、町子の方でも間が拔けるし王も極りの惡い事夥しい。部屋の空氣は又變になつた、折角苦心に苦心を重ね裝度が難場を凌いでやつと此處まで漕付けたのに今が肝心と云ふ處で碧の方がつまらぬ女の嫉妬から飛んだ打毀しをやつてしまつた。

如何なる事かと思はれたが幸に王は程なく氣を取直して無言で碧の方を睨付けながら兎も角願書を受取つた、願書は學士が小久保辯護士に頼んで書かせたもので所謂情理兼到ると云ふ名文であつた、讀んでゆく中に王は裴度か心を動かした樣子が見はれたが讀て讀んで仕舞つてもまだ何とも仰は無い、まさか催促をするわけにも行きかねて學士と町子はせめて謁見が叶つたのを心慰めに其儘本意なく御殿を下つた。

それからの待遠しさ、今に何とか仰があるか、今に特赦の命令が下るかと夜は遲くまで朝は夙くからお使の馬車が門前で停るのを待草臥れたが如何した事か一週間經つても音沙汰なく二週三週も空頼の中に過ぎてもう一月近くなると云ふのに何の仰も無い、町子の心配は謂ふ迄もなく學士も堪りかねて度々御殿に出懸け内々探つては見るが不思議にも此件に限つて一向手懸はつかず、肝心の碧の方は前に言つた通り王の顔色ばかり窺つてこんな場合何の依倚にもならぬ上町子の事では妙に學士を眼敵にして氣の利いた事を言へぬ口から『貴方の莨蕭さんはどうしました』などゝ飛んでもない皮肉を言ふやうな始末、碧の方の手から王の心を動かすは愚、王の意嚮に探を入れる事すら覺束ない程度で町子が瘦せる程氣を揉めば學士は猶更心配して彼是と工風はして見るが偖何とも仕樣は無く、事件は復行き塞つた。

(◇雜誌抄)

◆食物を結ぶ法(面白倶樂部)

◇豆腐を結ぶ法 豆腐を結ぶ法がある、それは切つた豆腐を酢に浸して置いて結ぶと自由自在になるのであるから、結んで後に水出しをするのである。

◇いもを結ぶ法 山芋を切つて結ぶには鹽水に浸して置けば、折れずして自由に結び得る事實に不思議な位である。

執務の間にも——郊外散策にも

敷島に限る!!

東亞煙草株式會社

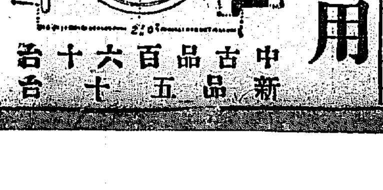
四月一日より五日迄
春衣大賣出し
三中井吳服店
京城・大邱・釜山

火災保險業務開始
東京『海上、運送、火災』保險株式會社
代理店
三井物産株式會社京城支店
電話 長 一貳六番 壹一九番 七二四番

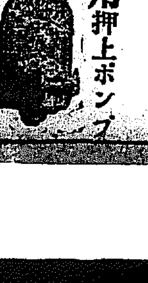
購買入札
右購買ス詳細ハ大正七年三月三十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
馬糧用大麥外四點
朝鮮總督府

電信修技生募集
當局電信修技生十五名ヲ朝鮮人ヨリ募集ス
詳細事項ハ當局從事員敎習所ニ就キ承合スヘシ
大正七年三月廿三日
南滿洲鐵道株式會社
京城管理局

鑛山用



土工用車輪
中古品六十台
新品五十台



鑛山用押上ポンプ
京城南大門通五販賣部 中根商會 電話一〇四番
京城岡崎町製作工場 電話二五六番

西伯利近狀
食糧缺乏の爲め在住邦人近く引揚乎

…ツクとチタの中間なるウエルフネウジンスクを發しアムウル線及び烏蘇里線經由廿八日夜來長せる某氏の談に曰く滿洲里國境通過は何に彼と面倒にて速急通り得可き見込も無ければ迂回したりハバロフスク迄は全く無秩序にて無切符の兵士等各驛より乘込み隨分騷しかりき、されど邦人旅行者に對し何等危害を加ふる事無く先づ安全なり、ブラゴエチエンクの邦人は何れも黒河へ移住し同市は全く過激派の占據とする所となり居れるも騷擾は已に治り居たり各鐵道沿線に居住せる邦人は危險の未だ身邊に迫り居るが如き事無きも何分浦鹽を經過するに於ては食糧缺乏の爲め自然引揚ざる可らざる運命に至る可しと各地在住の邦人は語り居たりハバロフスク以南は反過激派の勢力全然影を收め、列車も過激派以外の無切符者は過激派兵士に依りて引下され、却て秩序を保ち居るの如く覺ゆ。浦鹽の騷動は鎭定せり彼のセミヨノフ軍に對しては聯合國より武器、食糧、金錢等を多く貸與へ、東露西亞方面にて活動せしめんと務め居れりと露人は語れり（長春特電）

英軍の新陣地確保

ヘーグ元帥公報＝廿三日夜戰鬪全く歇み我軍はアルベール及びロアの東部なる新陣地に地歩を固めたりソンム北方に戰鬪繼續す可く戰況進展せず（倫敦電報）

長沙無秩序と維持

謝浩明氏は二十六日午前四時長沙より同省衡州府の北部なる衡山縣（揚子江上流）に向け撤退せしより長沙は無秩序となり爲に領事團は暫時列國軍艦陸戰隊を以て秩序を維持す可く協議せり因に在留日本人婦女子は碇泊中の日清汽船に避難せり（北京特電）

吉間輕鐵敷設許可

曩て日本より要求し居たる吉林間島間輕便鐵道敷設權は既に支那側の許可を得たり（北京特電）

張軍決死隊長沙著

張懷芝氏の派遣せし決死隊十名騎兵八十名は廿六日午後十時長沙に入れり猶後續部隊も遠からず到著す可く今や市内の掠奪盛ん也（長沙特電）

獨品入込

トムスク市には獨逸品續々入り込み販賣されつゝあり（哈爾賓電報）

全州電氣組織變更

全州電氣會社は二十八日臨時總會を開き内地の周防、大島の二會社と併合す可く組織變更を可決せり因に併合後の新會社名は中外電氣會社と附すべしと（全州特電）

川上理事歸連

豫て哈爾賓出張中の川上滿鐵理事は二十八日午前二時四十五分奉天通過歸連せり（奉天特電）

支那交通部員

支那交通部員一行二十五名は二十九日午後十時安奉線にて東上せり（奉天特電）

東省實業募株

東洋拓殖會社の娘會社として奉天に設立され其の經營資金を東拓に仰がんとする東省實業會社は資本三百萬圓六萬株中三千株を一般に公募し十八日より三十日まで一般に公募中なるが二十八日より二十九日に亘り申込取扱店たる鮮銀本店への申込みは四百四十株の多きに達せり尚ほ京城には東拓社員多く會社の實情を比較的良く知り易きを以て一般の應募を促せしものならんと

大阪財界便り

▲場況 持合なるも蜜柑の如きは幾分小安となり昆布類も氣配軟化し市[illegible]十錢高梅干も同様三十錢高を示し唯椎茸は品切季節に際し三、四[illegible]

[illegible]地製造は現在の工業力にて製造し得らるゝものは僅かに貨物用の粗[illegible]めらるゝや[illegible]

▲工業 藥品奔騰 化學工業[illegible]場は一齊に昂騰し前月高値百七十五圓の石炭酸は二百十五六圓乃至[illegible]騰し貨物少なし又グリセリンは前月二圓七十錢より二圓四十錢に下向きしが近日又二圓七十錢に回復[illegible]

電報運著と當局の辯明

內鮮間及び內地滿洲間電報運著に對し當局者は辯明して曰く去る十八日以來不通となりし佐世保、大連間海底電線は未だ復舊せず爲に內地滿洲間發著の電報は今尙京城郵便局を經由するに依り輻輳を來し一般鮮內も從つて遲延を免れざる現狀に在り而して右佐世間電線障害地點判明せしより二十八日午後四時許修理船は長崎を出帆する答なりしを以て今明日中には全通すべけんも天候其他工事の難易等の關係に依り斷言し得ざるも復舊の期は近きにあるべし今不通以來の通信狀況に就て見るに東京、大阪兩局の如き電報の輻輳に加ふるに手不足の樣子にて現に東京局の如き二十八日夜來送信機不良の爲時々斷信し二十九日朝に至るも完全に送信を爲し得ざりしが如く又大阪局の數日來數次（二三時間）乃至五六時間人員不足の爲京城局に送信來らざりしが如き事實あり此の如き狀況なれば此の際一層迅速に取扱ふは勿論監督者たる遞信省通信局に對し嚴重なる掛合を爲し可成斯かる事故の除去に努力なし居れるを以て一般に於ても諒とせらたし

運送料調停曙光（一）
會議所の調停策、運送業荷主讓歩か

京城に於ける運送業組合が本年二月二十一日より其の發送取扱手數料集配賃金並に到著手數料其他各種の運送賃金を增額改定し之れが實行を宣明せる結果一般荷主側の大反對を買ひ殊に小荷主たる食糧品雜貨商の如きは强硬なる態度の下に反對運動を試み既に幾度か運送業組合に向つて運送

▲手數料の値下 を交渉する所ありしも之に應せざる爲め食糧品卸商組合は獨立して運送取扱機關を設けんと企畫せるが其の結果資本金五萬圓の株式組織として近々右機關の實現を見んとする形勢あり依つて京城商業會議所にては既報の如く直ちに運輸部委員會を開き京城運送業組合の村瀨氏、河村氏等に就き値上の理由其の他詳細なる說明を求むる所あり其後更に運送業組合及び荷主側各方面に就き着々其の眞相を調査研究しつゝありしが昨今に至り漸く

▲調停の曙光 を認めたるもの、如く何等かの方法の下に運送業組合對荷主側の紛爭は茲に漸く調停を見んとしつゝあり。元來京城運送業組合が今回其の運送取扱諸手數料を從來の手數料表率に比較し甚だ突飛にして一般荷主側に首肯し難き値上げの決行を宣明せる理由は種々あり各種方面よりの打算等もある事ならむも要するに値上げの直接原因とも觀るべき運送業者側の主張を聞くに貨物輸送界は時局の影響を受け各種事業の勃興と相俟つて旺盛に赴けるは事實にて從つて勞働者爭奪の激烈となり其に準じて從業者の多くを內地方面に誘致せられ當業者は非[illegible]

▲應急策に焦慮 する所ありしも容易に滿足なる結果を見る能はず從つて破格の勞銀を給與するの外途なき折柄鐵道當局に於ては目下輸送界の警劇に連れ貨車の運用を敏活ならしむる爲め『貨車準備後六時間以內に積卸を終了する時は其れ以後積卸を爲さゞる時間に對し六時間毎に貨車標記の重量噸數一噸に付金二十五錢の割合を以つて貨車留置料を徵收し、又貨車準備の後荷送人に於て託送を取消したる時は其の準備の通知を發したる時より取消を申出でたる時迄六時間毎に前項の割合に依り違約金を徵收す』と定め客年十月十一日より勵行したる結果運送業者の負擔加重し

▲頗る苦境に陷 れりと言ふに在り卽ち値上の直接理由として認むべきは畢竟物價騰貴時局の影響に據る勞働賃金の昂騰等に基きたるもの、如し然るに荷主側の反對意見を聞くに今回の値上げは發送取扱手數料集配賃金並に到著手數料南大門驛構內貨車積卸賃金、二噸以上の特種品集配賃金等に至る迄總て從來の賃金に比較し二倍乃至五倍に達せり右の內發送取扱手數料の如きは新に九種の哩別及び斤數に依りて賃金を徵する事としたる結果甚だ不利を感ずる荷主の續出を見るに至り一例を擧ぐれば

▲從來百廿五斤 迄四錢たりし發送取扱手數料を今回百五十斤五十哩迄二十一錢を徵する事としたり卽ち既に四倍以上を値上にして哩數の增加に從て發送取扱手數料の增率を見一千哩以上六十六錢を算せり今之を集配賃金並に到著手數料に就いて見るに從來百廿五斤の容物を南大門外、南大門通五丁目御成町等驛附近迄集配するに四錢を要せしもの改定賃金に據れば十錢となり居れり乃ち之れも四倍以上の値上げなり其の他取扱手數料等に於ても同じく二倍乃至五倍位の値上げにして而かも其の値上率は寧ろ大荷主に低く

▲小荷主に高き 譏あり卽ち穀物棉布綿絲金巾等の大貨物を取扱ふ貿易商等に低くして一般個取扱たる小貨物に關係ある食料品雜貨小間物商等に高く之等の業者が蒙る不便不利は甚だ大なるものあり斯くの如きは何等理由の認むべきものなしといふに在り

銀價の下落

滿洲地方に於ける牛莊、上海、北京、天津、青島各正金銀票及び北洋銀、香港弗の各銀貨價格は百圓[illegible]牛莊正金銀票百四十五圓其の他は百四十二圓の迄二十七日各一圓五十錢宛の下落を見たり

玄關と勝手口（四）
鴨綠江の育める兩都

▽產業 安東四萬の人口を賄ふものは前に述た木材を第一とし、次に豆粕と柞蠶繭とがある豆粕は年產額約四萬噸これは內地へ輸出され豆油は主として神戶を經て米國に仕向けられる、粕と油の價額が五百萬圓位橫濱の阿部幸兵衞氏と安東の三省洋行の共同事業たる阿部油房を筆頭に日支人の工場が四五百萬圓に達する、柞蠶繭も年產大小十餘個處ある、其多くは繭のまゝ芝罘方面に送られ、幾分は絲に紡いで染織される、製絲工場には內地に聞ゆる三龍社の支店で興業公司といふのがある。支那風の製絲工場である。又安東柞蠶は屑綿を用ゐて支那式に染織すべく、既に工場の建築を終り、目下機械の据付け中、以上は安東の三大物產で、實に其生命であるが、此の鴨綠村を見當てに設立されたる滿洲商船株式會社は、大連の成金森上卯兵衞氏を社長とし、中野初太郎氏專ら經營に膺つて居るが、昨年五百噸級の木造汽船一隻を建造し、結氷期前に進水した、目下二隻同級の汽船を建造中である、資本金は百萬圓、將來有望なる會社である、倘一つ鴨綠江の中洲に滿洲造船會社といふのがあると聞いたが、其事業の現狀を承合する便宜を得なかつた

▽金融 安東の日本街、市場町の中央に鮮銀支店が儼然と構へて居る、土地銀行としては安東銀行同貯蓄銀行がある、支那街には例の錢莊が軒を並べて居るから、土地に應じた金融機關に不足は無い、通貨は鮮銀券の外、鎭平銀、北洋銀、小洋銀夫れに東三省銀行の兌換券も通用して居る、而して其兌換券の如きは奉天邊よりは割高である、其原因は、卽ち鴨綠江沿岸の住民は安東の支那商人から資金の供給を受けて山に入り、筏を流して來て安東で日需品を仕入れる、山に入つても其處は安東商人の勢力圈內である、斯く一つのサーキュレーションを作して居るので少しの支障も無く通用する、從て相應の値段を維持し得る次第ださうな、此項の結びとして、近來安東の好景氣に伴れて金融は頗る活潑である、而かも支那人側の內幕は之を詳悉する由もないが、日本人側の銀行預金が二百萬圓位（記者の安東を訪ひし日は生憎休日なりし爲め精確なる數字を知ることが出來なかつた）あるだらうといふことを聞きしまゝに記して置く（野犀）

學校組合會議

京城學校組合會は既記の如く二十九日午後三時より出席議員十四名を以つて開會同日の提案たる

第一號 組合經費規定中改正の件
第二號 授業料及び保育料徵收規定中改正の件
第三號 教育基本財產處分の件
第四號 教育基本財產蓄積停止の件
第五號 京城女子技藝學校へ補助の件
第六號 戶別割等級表改正の件
第七號 一時借入金の件
第八號 金庫と契約締結の件
第九號 大正七年度戶別割賦課額決定の件
第十號 大正七年度歲入出豫算の件

に就き第一號議案より順次附議する所ありしが結局全部委員附託となり第八號議案の審議を了し第九號案に移らむとする時既に午後六時を過ぐる十五分議長閉會を宣し三十日午後三時より引續き組合會開催の事となり一同散會したり

支那新聞記者渡日

北京に於ける支那新聞記者中の有志は日支親善の根本義は兩國民相互の理解に在りとなし其提攜として我國情を視察すべく遊日團體を組織し觀光旅行の途に就く事となり一行は約廿名旅行日數四週間、四月十日北京出發朝鮮を經て視察の途に上る豫定なるが在北京邦人記者團は右遊日團の趣旨に贊し進んで東道斡旋の勞を執ることに決したりと

金久保少將消息

歩兵第四十旅團長金久保少將は井伊旅團副官を從へ二十七日午後四時九分大邱著京屋旅館に投宿三十一日迄步兵第八十聯隊の第一期檢閱執行の上四月一日歸任の筈也（大邱）

金谷府尹催宴

京城府尹金谷充氏は三十日午後六時半滿華樓に於て晩餐會を開き京城新聞雜誌記者を招待すべし

黃海社記者招宴

新に龍山榮町に黃海社を設立し專ら土木請負業に從事する同社長工學士松山常次郎同支配人渡邊定一郎の兩氏は三十一日午後六時より千代本に祝宴を開き在京城新聞通信雜誌記者の主もなる人々を招待す可し

富塚聯隊長出張

步兵第七十九聯隊長富塚大佐は二十八日夜龍山發新義州に出張せり

川上東拓理事歸期

東上中の東拓理事川上常郎氏は決算其他の要務猶ほ終らざるを以て歸期延引し居れるが多分來月三四日頃東京を出發すべしと

人事消息

▲富永一二氏（平安南道第二部長）廿九日夜入京不知火へ
▲酒井茂吉氏（海軍大尉）廿九日入京日丸へ
▲岩永米吉氏（海軍大尉）同上
▲青山學次氏（度支部專賣局大田出張所長）同上

[illegible] 朝鮮で緬羊を飼ふことは大に有利な事業であると云ふことは夙に聞く所であるが今度議會を通過した緬羊飼育獎勵費（初年度二十三萬餘圓）に就て農商務省當局は語つて曰く▲羊は單に毛を取る許りでなく其の肉も料理次第では美味く食べられる、殊に我國では何うしても百萬頭の羊を飼はなければ軍人の服を初め種々な毛織物の需要を充たすことが能きぬ▲故に百萬頭も之を飼ふには其の肉の料理法を研究して牛肉や豚肉に劣らぬ樣な需要を求めねばならぬ▲殊に農商務省では今後牧羊生といふのを養成して其の牧羊生から一般の希望者へ羊の分牧を傳習せしむるさうである▲米國ボストンの心理學者サクサード博士は露國過激派の心理狀態を解剖して曰く「彼等は戰爭の齎した異常なる心的緊張と激動の爲めに發狂したので醫藥の効能は受合はれないが、勞働の價値を常態に復し且つ維持すれば漸次に恢復する、此種の狂人はストライキの際に勞働者の間によく發見せられる」と▲學者文士美術家の軍籍調に曰く先づ森鷗外博士の軍醫總監は特別として學者側では哲學の桑木嚴翼博士が歩兵中尉▲美術の瀧精一博士が歩兵少尉で孰も日露戰役に參加して勳章を貰つて居る▲彫刻家新海竹太郎氏も嘗ては騎兵軍曹で臺灣征伐をやつた事があり▲畫家結城素明氏は步兵曹長で日露戰役に出征した事がある

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成廉價を旨とし御高需に應ず 京城日報社寫眞製版部

京日案內
▲申込後中途撤廢中止の節は料金不返戾
▲六行以上の御申込は特に割引の事
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
◉代診藥局生看護婦至急募集 希望者本人來談ありたし 仁川宮町 松本病院 606
◉龍山電話五八番讓り渡したし 京城南大門通農工銀行裏 岩田（電話三五四） 6[illegible]5
◉店員入用 年齡十七八歲以上 希望者は履歷書携帶來談但要保證人 仁川 高野酒造場 600
◉代診生採用 希望者は履歷書を送附せらるべし 半月泉町 齊藤內科小兒科病院 591
◉裁縫師數名入用 但技術熟練のもの希望者至急照會あれ 開城大和町 廣島屋洋服店 085
古服高價買入御報參上 黃金町二丁目電取次二二三〇 木村洋服店 482

番外
店員募集 商業學校本年卒業者 高等小學校又は補修學校卒業者 希望者本人來談要保證人 長谷川町五八 染料商 後藤商店 604
信用又は擔保付貸出 懇切秘密に御用申上候 京城府廳橫門前 電話二九六五番 三成社 613
◉小僧五名入用 高等小學卒業程度 十三四歲以上 希望者は午後七時來談あれ 鐵物商 京城南大門橫 德本京城支店 601
求 見習小僧 十二三名日鮮人不問十四歲以上十八歲迄當業經驗者地習練希望の者 本町二丁目 硝子板商 三田政商店 590
運送業に經驗あるもの數名入用 希望者は左記へ來談又は履歷書送れ 仁川 京城日報支局 571
◉店員入用 十四五歲より二十四五歲迄 但市內要保證人本人來談を乞ふ 京城本町二丁目 ちゝぶや 599
▲造林の王 落葉松苗木 植林の好時節多少共御用命を乞ふ 京釜線芙江 高瀨苗圃 603
朝鮮人入用 十四五歲より十六歲まで 希望者は普通學校卒業程度の者自筆履歷書携帶本人來談あれ 京城南大門通二 堀井勝寫眞館出張所 546
恩給年金立替 三年分迄無保險 五年一半利 京城若草町 金光教會裏手 電話三三九一番 國江商會 481
◉男女社員採用 希望者は履歷書携帶午前中來談あれ 京城黃金町三丁目二九一 愛國國債株式會社京城支部 595
書記招聘 內勤外交給料卅圓以上 廿五歲以上の希望者は四月一日より三日迄本人來談あれ 京城黃金町三丁目 日華生命保險株式會社朝鮮出張所 594
外務員招聘 有給 保證人要 希望者京城旭町一大師堂前第一生命保險相互會社朝鮮地方部長 堀田宅へ來談あれ但午前中 593
◉鑛物各種分析 太平町二丁目三六 電話長二八三三 遠藤醬油店向側入る 松永分析所 592
椅子◉卓子◉金庫 新古格安製造販賣 京城黃金町二 電長二四一二 室商店 589

◉愈々製本出來發賣
大正七年 [illegible]職員錄 定價金六十五錢 送料金八錢
販賣所 京城本町二丁目 日韓書房 電話一四五 振替京城一二五番

拜啓時下益御多祥に被爲渡候段奉大賀候陳者鴨綠江運輸司所事永年御眷顧を賜り候御蔭を以て業務追々發展の氣運に向ひ前途大に擴張の曙光を認候に就ては今般組織を改めて株式會社となし高羽秀吉事は此の際不敏を顧みず專務取締役に就任し益々業務の發展を企畫し聊か國家の爲めに貢獻の微衷を盡し度考に御座候間何卒倍舊の御引立御用命相願度此段通知旁御禮を兼ね更に御依賴迄如斯に御座候敬白
鴨綠江運輸司所 高羽秀吉
鴨綠江運輸株式會社 本社 新義州濱町 出張所 安東縣興隆街一

飛ぶ樣に賣れる トンボ萬年筆 TRADE MARK 魚形 水當形 少年用廿五錢 實用新式五十錢 到處文房具洋品雜貨店にあり品切の際は二三錢切手又は振替（東京三八七〇二番）へ御送込あれ 發賣元 東京淺草新堀井町 愛隣製作所 特約販賣店 京城永樂町二 堀崎商店

移轉御通知
從來明治町に於て營業罷在候處各位の御引立を蒙り御蔭を以て日增隆昌に趣き候段偏に御懇命の賜と鳴謝仕り候今回業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕候間倍舊の御愛顧の程希上候
大正七年三月三十日
（新移轉地）京城府本町二丁目三四 同和綿行京城出張所 電話長三一三六番 三一四五番 電略（メ）又ハ（メン）

謹告
謹啓各位益々御清勝の段奉慶賀候陳者從來當所に於て亞鉛鑛及鉛鑛買鑛罷在候處都合に依り當分右鑛石買入中止可仕候間幸に御清恕被成下度此段謹告仕候 敬具
大正七年三月
久原鑛業株式會社 京城事務所
同 鎭南浦製錬所

[illegible]の出廻稍々増加の傾向ある爲め一般買控の振合にて小數の補充買のみにて商狀不振を呈した鷄卵の[illegible]益々軟弱となり又一割方の安値を告げ果實類は產地商氣配の爲め相場動きなく釘附けの狀とを[illegible]傾向なり

△自動車自[illegible]
自動車の內[illegible]云へば或は客車も製造の曙光を[illegible]廠に於ては其製作の研究中なりと

△板硝子類暴騰
硝子類は[illegible]爲したるを以て需要側は案外の思[illegible]を見るは相應の時日を要すべしと[illegible]行はれ其結果生產側には殆んど新[illegible]供給に應ずる餘裕なきため各品共[illegible]乃至十一圓より十七圓五十錢に暴[illegible]り十五圓卅錢二重炭酸曹達は十圓[illegible]

◎野球試合　三十一日午後一時より訓練院に於て公論俱樂部對漢湖農工銀行野球團との試合あり

◇獨軍の占領したる第一線

◉爆煙幕の掩護下に

◆多數の大砲を集中一齊に敵陣地に火蓋を切り彈煙を濛々と擧げつゝ◆

前進！亦前進！！獨軍は何處迄進む

―肉彈戰でなく砲彈戰である―

龍山軍司令部に同參謀を訪ひ西部戰線の戰況に就いて聞くに西部戰線に於ける獨軍の大活動は實に驚天動地とも謂ふ可きで我々は想見するだに肉鳴り骨躍るの感に堪へない、獨軍の進出したクロアジーユからショーニー附近までの戰線の延長は我奉天戰當時の戰線に比較して大差ないが參加師團は約

◆七八十師團に達したと言ふから頗る大袈裟な攻擊であつたら此戰爭で獨軍に九萬の死傷者が生じたと言ふが奉天戰の時すら我軍の死傷數は四萬に達した程だから別段驚く程の數ではない恐らく肉彈戰と言よりも四百八十平方哩の占領地域を火砲で完膚無く叩き潰し

◆爆煙幕の掩護◇に依つて無茶苦茶に突進したのであるから砲彈を費やした數と量に至つては恐らく振古未曾有の觀があつたらう、一體西部戰線は第一線は一里、第二線は十里と言ふ樣に築城地帶を造つてあるのだが、先づ築城地帶を攻擊するには砲兵陣地には多數の大砲を集中し敵の陣地に向つて

◆一齊に火蓋を切つて寸隙の餘地もなく砲彈の雨を降らせる之が所謂爆煙幕を言ふ奴で適度もブールクールに大砲を千門集中さすさうであるが一度爆煙幕の攻擊を受けたが最後如何な陣地でも撤退しなければならぬ其虛に乘じて步兵が進出する、之に伴ふて更らに爆煙幕を推進する斯くて亂潰しに敵を掃蕩して進擊するのである爲に

◆英軍が一週間も要つて奮鬪した此の第一線を獨軍は僅かに五六時間にして占領したと言ふから其の砲擊が如何に手酷しかつたかゞ窺はれる、獨軍が今の勢ひで何時まで繼續し得るかと言ふ事は甚だ疑問とされて居るが英佛軍は後方に數千の築城をしてあるし、獨軍の火砲に對しても相當の應酬はするから如何に

◆破竹の勢の獨軍でも自由の野を驅るが如く進出する事は不可能でありヒンデンブルグが豪語したるが如く四月四日に巴里を陷れ得る事は六ケ敷からう殊に戰線の推進能力を充分に發揮するには後方の移動機關が完備し砲彈の補充が充實して居らねば不可能である獨軍にどれ丈けの準備が整ふて居るか窺ひ知る術だにないが若し第一戰線を占領した時だけの準備で更に第二戰線を攻擊せんとするならば

◆相當の日子を要するであらう新聞紙に大決戰一段落などゝ言ふ記事が見ゆるがあれは此の推進能力の補充即ち肩の息を拔いて更らに捲土重來の準備をするためで今後獨軍が何處まで推進し何處まで砲彈の補給を著け得るかは頗る興味ある觀物である（因參謀談）

◉鑛滓まで訴訟物件となる

＝甲山銅山の鑛滓廿八萬四千圓＝

▲原被告三年越しで係爭
▲鑛業熱の勃興に伴ふ奇現象

朝鮮にては鑛業熱盛んなると共に是れに伴ふ犯罪或は訴訟等尠からざるが最近京城覆審法院にて判決されたる

◆鑛滓引渡し事件の如きも鑛石の價格暴騰に基きたる訴訟事件なるべし第一審は京城地方法院を經由したるものにて其の原告は京城樂園洞居住鑛業崔泳大にして崔鎭辯護士を訴訟代理人として西大門なるコールブラン商會を相手取り咸鏡南道甲山郡鎭東面銅店里甲山銅山（現久原鑛業會社所有）所在の火前鐵（鑛滓）

◆五千五百六十二噸を引渡せ若しこれに應せざれば其の見積價格として二十八萬三千六百餘圓を支拂ふべしといふ訴訟を大正五年六月二十七日京城地方法院に提起したるが發端にして今日迄係爭しつゝあり、コールブラン商會にては大久保辯護士を訴訟代理人として相對抗し居れるが一審に原告の主張する所は原告は明治二十六年

◆甲山銅山を發見して爾後許可を經て採掘精煉をなし居れる內四十年中鑛業法の發布となりたる際右の銅山をコールブラン商會より先願されたる爲め權利を奪はるゝに至り已むなく之れが讓渡しに就き原告の私有財產は時の相場を以て同商會の手に移れり然るに前記の鑛滓は尚原告の所有物と思ひゐたるに大正五年五月に至り被告商會は之れを擅に

◆專有して該銅山全部を擧げ久原鑛業會社に賣り渡したる際件の鑛滓をも久原會社に交付したるは原告の權利を蹂躙したる所業なるに依り此の訴訟に及びたりといふにあり又被告側なるコールブラン商會にては前記の鑛滓は原告の主張の數量だけ無きのみならず銅山全部の權利は先願に依りて獲得したるものなれば其鑛滓を引渡す

◆義務なき上に原告の提訴前既に時効消滅に依りて原告は被告に請求する權利なきを以て其の請求に應ずる必要なしと抗辯し結局一審にては係判官現場に出張して檢證し或は久原會社の技師をして鑑定せしめたるに現在の鑛滓は三千二百六十四噸ありと而して之れを現今の市場の價格に見積れば四萬八千五百八十餘圓の價値ありとのことにて裁判所にては之れを原告の

◆所有權と認定し前記四萬八千餘圓の金額を被告より原告に支拂ふべし其の他の要求は之れを棄却し訴訟費用は五分の四を原告にて五分の一を被告にて負擔すべしといふ判決となり原告の一部勝訴に歸したり然るに被告側にては是れを全然不服として京城覆審法院に控訴したるに同法院にては再び新に檢證をなし尚林田鑛務課長に詳細なる

◆歷史的の鑑定を命ずる等詳細審理する所あり其の結果此の程原判決中の控訴人『コールブラン商會』の敗訴の部分を廢棄し被控訴人（崔泳大）の請求を棄却す訴訟費用は一二審共被控訴人の負擔とすといふ判決にてコールブラン商會の全勝に歸したり之れが理由を聞くに崔泳大は精煉したる際右の鑛滓は之れを

◆不用物として山內到る所に自然に任せて棄てありしものを其の後商會の手に移りたる際地方人民が困窮して無職者多きを救恤する意味に於て是等の人民を使役し深く埋沒散在しありし鑛滓を拾ひ集めたる次第にて而かも最初より權利を專有し居るものなれば當然商會の物件なりといふ申立て

◆理由あり として裁判所に於ては控訴人の主張の如く認定するに至り遂に崔泳大の全敗に歸したるものなり

◉二百三十名から五十名の及第

白線を早速帽子に卷く
善隣の受驗成績發表

龍山の善隣商業學校では二十九日午後一時から本科一部の受驗成績を發表した、一時からと云ふのに受驗者は正午前から續々と詰めかけ廣い校庭も忽ち黑い

◆◆帽子の山と化す軈て天から落ちた褌のやうな長い／＼成績表が貼り出されると多數の小さな瞳が隼のやうにソレに注がれる及第か落第かと斯した瞬間にも胸は怪しく高鳴るのであらう

◆◆二百三十名ばかりの志願者の中から五十名しか採用せぬからザツと其三倍强は無殘にも篩ひ落された譯だが又ソレ丈合格者の喜悅は一層である、中には成績表に自分の名前を發見すると早速用意の

◆◆白線を取り出して帽子に卷き付け入學式も濟まぬ中からモウ善隣商業の生徒になり濟まして居たものもあつた、得意の程が察しられる。

◎文士浪花節 松本登秀來る

△浪界隨一の變り者
△敎育家及役人上り

有樂館では四月一日初日で浪界の奇人變物として自他共に許すのと元德島縣立中學校敎諭、元二六新報記者、元東京朝日新聞記者、元朝鮮總督府郵便局長、同度支部專賣課技手などの經歷を有するので內地には廣く知られて居る松本登秀といふ男を座長に戴く浪花節一座で開演する事となり、本人の松本登秀は已に二十九日の朝入京した『何も肩書で浪花節を聽かせんぢやありませんから、以前の經歷なんざあ揭げなくつてもいゝんですがこれも廣告流行の當世ですからね―』と言ひ『まあ是非一度聽いて戴いた上に御評判を願ひます』と有繫に才物らしい口吻から悟つた事をいふだけ大なる自信があるらしい、語り物は大隈侯の爆彈事件の眞相が主なるものだとは新聞記者出の同人が選みさうな題目である

春の大賣出し

例年の通り

◎見切格安品

澤山取揃ひ申候間何卒賑々しく御來觀の程奉願候

京城　ちいぬや　本町

京龍情死史（十四）

手練手管に 乘られて登り詰めた戀地獄

行燈部屋で無理心中未遂

又一が大和新地の福島樓の五月に熱くなつて通ひ始めてからはそれこそ雨の夜も風の夜もで、灯ともし頃になると吉野町の角を通る電車の軋りが尻を突いて居ても立つても居られなかつた今日も華客先に注文の根炭を七俵配達して來るとさつさと水道傍で顏を洗ひ爪の間や脚の疵に沁こんだ垢を念入りに落して、一張羅の浴衣を引掛け鬼の居ぬ間の命の洗濯と、華客先から締取つて來た五圓紙幣を兵兒帶に結び込みあたふたと

家を飛び出

した『偉うお早うおまんな』店に出て紙白粉でお化粧のムラをなほして居た五月は仲居の斯うした聲に迭られて二階に登つて行く又一の姿を見ると襦襠の裾を高くからげて慌しく二階に登つたそして部屋に入るや否や『永い事お見限りで』瞳の大きい鼻の低い唇はどちらかと言へば厚い五月が眼に怨を含ませて又一の膝にしなだれかゝると『顏を見る早々きつい怨じ言まあたんとお樂みやす』

仲居は當惑

相にモヂ／＼して居る又一にありつたけの愛嬌顏を見せて降て行つた五月はわざと藥鉢らしい態をして『他に增す花が出來ましたんやろ』と拗た風を見せながら電話を掛けたが何故來なかつた、金が無いたら什にでも工面はつける一月餘りも顏を見せないのは什した理かと紅怨縷々、まだ宵の口の

廓の開きに

興衛しながら男の膝を揺ぶる又一はどぎまぎしながら家の主人が金佛のやうに頑固な事、自分は月の手當が五圓親元から送つて呉れる金が若干、それでは逢瀨も思ふに委せぬ事などを諄々と誥解らしく言つて此後は多少融通のつく身となつたから決してお前に心配はかけぬ惡う思うてくれるなと五月の手を取つた、其の手は微かに震へて額には汗が滲んでゐた五月は急に男がいぢらしくなつて戀には善惡のけじめがない

妾が憐愍こ

思ふなら毎夜とたり通うて呉れ萬一主人の方が不首尾となつたらお前一人位ゐは妾の腕で碓い炭俵を擔がせないでも樂に養つて行かれやう、年季が明たら夫婦になつて手鍋を提て暮さうと固い決心の色を見せた又一は五月の眞心が嬉しかつた、そして女の爲めに總ての者を擲げやう、義理も名も命もと思ひ詰めて了つた

◉飛行機屋上に墜落

機體破壞＝德川大尉輕傷を負ふ

名古屋港にて飛彈射擊演習施行の爲め廿九日朝各務原陸軍飛行場を發せしモ式第百十五號飛行機は伊庭中尉操縱德川大尉同乘し又スパット式は長尾中尉搭乘して名古屋の上空に飛揚せし際第百十五號は俄然機體に故障を生じ同市園井町二丁目毛利眞常方屋根上に墜落し機體破壞せしも幸ひ伊庭中尉は無事、德川大尉は微傷を負ひしのみなり（名古屋電報）

◉鮮人の黑手組

▽民に掛つて逮捕

慶北金泉郡農所面立石里鐘行商金演卿（三九）は漆谷郡北三面栗洞の豪農張洛善（三八）に對し三月八日正午頃金泉郡南面雲谷洞の鐵道附近に金包みを持參せよ應せざれば家人を鏖殺したる上放火すと認めたる脅迫狀を送り同時刻現場に至り指定の場所にて紙包みを發見して拾ひ取りたる所を豫て網を張りゐたる若木派遣所の補助員三名に逮捕され取調の結果外五箇所へも同樣の脅迫狀を送りし旨自白せり

◎實業青年修養講話會　京城青年會主催の下に市內重なる實業家の後援を得て開催しつゝある修養講話會は三十日（土）午後七時半から長谷川町行樂會所に開會左の講演あるべし講演『京城の食料問題』大村友之丞君『心の發生』醫學博士佐[illegible]君講談九十九谷一[illegible]君

うわさのかう

△近來電報が步いて來ると云ふ噂があるから何の事かと思つたら延著するからだそうな△それでは京城局の電報取扱數は什んなものかと聞いて見ると一日平均一萬八千通內外の受發とは驚く△そこへ持つて來て大連佐世保線が不通となつて一日六千通の電報が朝鮮を經由するから結局一日二萬三四千通を扱はねばならぬそうだ△之では係員が衰弱に罹るのも無理はないそこで遞信局に應援を求めやつと六七人伴れて來たが之等は未熟で物の役にも立たぬ△係員は徹宵執務して而かも翌朝の九時頃にならねば前日の分が形付かないと云ふ大繁忙、電報の步く理由は斯の如し

春衣大賣出し　四月一日ヨリ五日マデ

特價品提供
モスリン友仙
セル地
片側帶地
其他見切品
り切澤山

京城本町一丁目　丸一吳服店　電六三五

內科　小兒科
呼吸器病　胃腸病喘息　リユマチス
京城本町二丁目四十五番地電話二八八〇番
山田病院　院主山田萬作

移轉
從來本町三丁目に本店を置き營業仕來候處業務擴張の爲左記元共愛生命保險會社跡（青木堂より一軒西）三階家へ移轉仕候間此段謹告仕候也
京城南大門通三丁目電話八四番振替一七六〇番
大工道具　小林万錄
日本一

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです
京城本町二丁目角　古城贊化堂　電話一〇二番振替七三七番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　朝鮮銀行
電話[illegible]
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、傅家甸、龍井村、鄭家屯
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

▲春の娯樂と寫眞機▼

イーストマン會社製カメラ
ベストポケツト一吋5/8×二吋1/2フヰルム使用オートグラヒツク
アンスコカメラ
○號ベスト一吋5/8×二吋1/2　8Aレンズ　アクロマチツクレンズ付
定價各拾四圓　送料鮮內十二錢外三十錢
京城太平通・電話構內一八番
京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

內科　眼科　小兒科
京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
本田醫院　院長本田建[illegible]
附屬　京城肛門病痔疾療院
電話二四四三番　振替京城三三八番
肛門病の入院治療　痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢[illegible]

櫻御殿

大阪 霞の家主人

第百八十七回

座敷牢（二十五）

『斯様な事を申し上げるは、恩に報ふに仇をもつて致すに當り、心中まことに忍びかねるが、お上にお手數を掛けねやう致すのが第一の忠義と仰せられた第一言に愧ぢ入つて一伍一什を白狀致す、何をか秘し申さう、手前が今日まで露の命を繋ぎ居るは、全く初瀨の蔭でござる』

清之丞は思ひ切つて云つた、定右衞門は不審する

『何ぢや、初瀨の蔭とは？』

『御存じでござらう、中舘初瀨の事でござる』

『その初瀨は去年御當所を立ち退き、今以て行方が知れぬではござらぬか』

『いかにも左様、然し、人間は身體よりも心、初瀨は居ずとも、初瀨の心が殘つてござる』

定右衞門は不審の眉を顰めながら『あはれ、清之丞は氣が狂ふたやうぢや』と思ふ、じつと覗上て……

『その心が何れにあるのぢや』

『御不審は御有理、中舘芳野殿の胸にござる』

『いよ〳〵不思議なことを云ふ、芳野の胸に初瀨の心が在るとは喃？』

『初瀨と芳野は同胞よりも親しい間、その初瀨と手前とは、二世を約した間でござる』

『すると芳野が？』

『手前今日まで露の命を繋ぎ居るは、全く芳野殿の蔭、芳野殿の蔭といふも初瀨との縁故からぢや』

定右衞門は聞くまじき事を聞いたやうに

『さらば芳野が、夜ごと食事を運ぶとでも仰せか喃』と訊ねる、老功の與家老は段々清之丞の思ふ壺へ嵌つて來る

『まづ左様ぢや』

『意外とも意外』芳野に限つて左様なことがあらうとは思はれない、第一お出入の厳しいお奥を立ち出づる事は爲きぬでないか』

『與御家老は、一を知つて二を御存じない、芳野には兄がござる』

『そりや何れに？』

『當時御城下へ参り居る、姓名は……』と云ひかけて『これぱかりは申すまい、恩を仇で返すも同様ぢや』

『言語道斷、それが武士の道か、筋道は何うあらうと、奥方の御消息に手を掛け、お上のお手數を掛けながら、その上また語らぬ義理に思ひ惑うて、更に御心配を掛けてはなるまい、直ぐに白狀致せ、すれば手前刀に掛け、決して惡うは計ひ申さぬ』

『此ればかりは舌が爛れても、申し上げまじく存じたれど、斯うなつては存命の見込みもない、折角の恩誼に背き、芳野殿に迷惑を掛けては濟まぬが、現在を白狀致す』―と云つて暫く思案して『實は芳野殿の舍兄風早利右衞門と申す仁夜な〳〵握り飯を運び呉れます』

『あはゝゝ、あはゝゝ』と定右衞門は大聲に笑ひ出した『何を云ふかと思へば存外の戯言、堅固の厳しい城内へ、他國者の入り込むことが爲らうか、お身は狂氣致したな、いやさ、狂氣と見せて眞實を僞はらうと致すぢや喃』

『意外なお疑ひ、さらば何事も申しますまい、お上へお手數を掛けるは恐れ、眞直に白狀せと仰せられるに由つて、犬畜生と呼ばれるを承知の上、有様を申し上ぐるを不思議にもお疑ひの様に見ゆる、お疑ひを受けてまで恩人を陷罪へ入れやうとは存じ申さぬ、二度とお訊ね下さるな、御信用のない耳へは、何を申しても僞言に聞これるものでござる』

清之丞は云ひ切つて窓から面をかくさうとした

◇牛酪の代用品

馬鈴薯に牛酪を混ず

◇英國食料省は國内に於ける牛酪不足を補ふ目的を以てポテイトーバタ卽ち馬鈴薯に牛酪を混じたる物の製造法說明書を發行し之を牛酪に代へて廣く英人の食用たらしむることを奬勵して居る現在英國に於けるポテイトーバタの價格は一封度約二十錢で牛酪に比すれば遙かに安く其製造法は右說明書に據れば左の如くである

◎馬鈴薯の皮を剝きて湯で十分に蒸し碎けて粉狀を呈する樣にす其馬鈴薯十四オンスを目の細かき篩に押付け漉して暖められた器に入れ之に牛酪或はマーガリン二オンスと茶匙に一杯の食鹽を加ふ此混和物を滑らかになるまで攪拌せたる後ロール（卷物）の形にし涼しき所に置く其外見を好くする爲めに其の牛酪の如く著色することを務む又之を三日以上保存するには牛酪防腐劑を加ふるを可とす

◎此製造法に從ひ注意して製造されたポテイトーバタは牛酪の代りに麵麭などに附て食して頗る好味であるさうだ

春燈吟

其の十三―大正七、三、四―

霞

競馬ありし矢來崩れし霞哉 白風
貸舟に廣々と乘り霞哉 同
霞む野の松に懸けた周衣哉 春樹
貨車卸すレールの響き草霞 迦南
霞む野に枝行めぐりて畑哉 水子
夕霞兵疲れ急く歸營かな 橙黄子

蜆

蜆煮ゆる艫に浪なし舟掃除 田打夫
雨となる江の潮迅し蜆舟 同
泥吐かす蜆に深き灯色哉 寶丘
蜆掻く人や寒き江の暮色 同
蜆掻くや生徒が騒ぐ我まゝ 北星
蜆掻く人見て釣るところかな 同
軒深き雨の朧朧や蜆汁 迦南
笊の蜆陽に乾き居る蜆哉 但人
やゝ沈む味噌に冷めし蜆汁 笛木
澪の水嵩落ちて淺き蜆かな 橙黄子

◇野火百首（一四）

高須賀獸

小夜更けて月夜山かげいつまでか野火は消ゆさも見ゐざりにけり

生れたる香が故郷に皆々を眺めし野火の今日にぞ見ゆ

知がつけばおかしや口を喚ひしばり牛と寄れとは卑な引き合ふ

乳牛の柴かるゝ音かこつ〳〵と小暗き床を蹴る音聞ゆ

いつさなく胸に皺よせ氣色だらけだもの、乳搾るを覗けり

ことん〳〵乳を搾りし大牛をやりすごし男何か笑へる

朗なく〳〵山鮮かに晴るゝところけだもの、乳けふくらむさ云ふ

乳を呑む音もかそけく仔牛はもなりく〳〵は乳は突き上げにけり

アキサメルは埃のなかに眠りけり街路樹に添ひて過ぎ行きにけり

列車か起りそ部屋に風ありて煙草の灰は散らばりにけり

◎早大留學生の出發 昨年早大商科を首席にて卒業したる秀才島田孝一氏は島田三郎氏の令息なるが今回同大學海外留學生として[illegible]政策研究の爲め三年間米國ペンシルバニヤ大學へ留學することとなり又一昨年商科を首席にて卒業したる小林新氏も同時に海外留學を命ぜられ金融及び保險研究の爲め三年間米國コロンビヤ大學へ留學、小林氏は來る四月一日、島田氏は同十九日出發の筈なるが小林氏の留學費は特に村井吉兵衞氏より無條件にて全部同大學へ寄附せられたるもの也

讀者の領分

▲朝鮮人の風呂に入るのを拒絕して支那人に之を許可されるのはどうゆうわけですか敢て京城湯屋同業組合の諸君に問ふ（入風呂生）▲鐵道管理局に申上候鐵道小荷物便は甚だ便利なる者であるべき筈なるに廣く一般に利用せられざる樣に候小生數回託送したる經驗によれば驛の係々にて取扱繁簡を異にし託送狀を書いて呉れて判丈け押さす人もあり是非本人で書けとペンを押付けるもあり子供や下女にては間に合はずして主人自ら出向はねばならぬ事もあり而かも其品名の書樣も鐵道に於ける一種の專用語あつて素人にはわからぬ向あり何とか今少し簡便なる手續に出來ぬ者に候哉（迷名）▲三角町附近を受持つ水道巡視は其言語行動共に實に不親切を極めて居る水道使用者を苦めるを以て目的とせるかの如く感せしむ其理由が聞きたくば何時にても說明すべし敢へて當局の反省を乞ふ（三の七一生）

◎猶系商人活躍

▲カイヨー事件 米國に於ける猶系統の商人が獨逸の爲めに[illegible]

彼の佛國前內閣總長カイヨー卿の逮捕を惹起さしめたる賣國佛人ボロ、パシャ事件に發せる點に於て興味ありと云ふべしボロ事件は佛[illegible]

ロの金穴と目せられたる獨國の銀行家にユーゴー、シユミッドなるものありボロ事件に關してシユミッドを審問せる紐育州檢事總長は[illegible]

其生れは獨逸にして戰亂開始の當年なる千九百十四年末米國に渡れり彼が昨年一月前駐米獨逸財務官たるアルベルトに送れる書翰は米[illegible]

し羊毛は價格數千萬弗に上ると稱せらる、封鎖漸く嚴にして輸送の途絕ゆるに及び彼等は此目的を轉じて獨逸の利益の爲めに羊毛を買[illegible]

に於て此種の親獨的分子活躍し居るべきを察したる英米兩國の當局者は英領土より米國へ供給する羊毛は悉く一旦織物協會の管理に移し然る後政府監督の下に民間需要[illegible]

を通じて買溜せる羊毛を賣出し利喰を試みんとせり以上の事實は後學の押收せる書翰に依りて暴露せるものにして本年二月二十五日シユウエルトが檢擧せられたる[illegible]

◎不正漁夫逮捕 釜山牧の島居住長崎縣生れの漁夫楢本三五郎（三八）加藤徳四郎（二二）楢七太郎[illegible]

◎巡查教習入所式 警官練習所にては今期の出願者三百五十二名より試驗の上八十名を採用し來る[illegible]

春衣大賣出し
よせぎれ見切反物
四月一日より五日まで五日間
澤山取揃へ申候
京城本町
三越呉服店

最新流行 時間正確

新荷著
純ニッケル側十二形アンクル腕卷
堅牢無比
金拾壹圓
▲瑞西國製
七寶裝飾入
特價金七圓
腕專用にして貴婦人用男子用に敵し最も優美
尚ほ金側懷中時計最新流行品取揃居候
京城本町二丁目
京日代理部
振替京城三〇〇番

りん病ばい毒
詐欺漢なり
花柳病 ドラグ商會
[illegible]

大阪屋號
[illegible]

新荷著
懷中時計

ニッケル側十八形アンクル懷中時計（▲印はラヴェー入）
[illegible]
本店京城本町二丁目電話九七二番
イングレッシー商會

賀化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科
入院隨意
無料施療す 每日五名を限り
醫學博士 古城憲治

南毛セル 大中小柄染色地質優 保證堅牢 八十錢
羽織袴コート單衣インバネスに適し
昨今非常の流行品なり
注文 年齢柄お好みハガキで申込は引替へ不向なれば交換又は返金するから買物至つて安心
桐生織物販賣所

產地直賣 五割安
大島銘仙 一反六圓
縞銘仙 五圓五十錢
大巾兵兒帶 貳圓五拾錢

生徒募集
本科 五十名
專修科 五十名
隨意科 三十名
右至急募集す
大正七年三月十四日
京城三角町九一（朝鮮商業銀行後）
私立 實修裁縫學舍

電話變更
弊店從來使用の電話を今後『三〇四七』番に變更致候間此段廣告候也
京城本町一丁目（三越前）
パン製造和洋菓子
鮮風 センベイ
岩宮朝日堂

最新刊
最新和英辭典 特 一、三五
宇句活用文章講義 特 二、〇〇
分析化學 上 二、五〇
大正名人錄 二、五〇
新秘口よせ術 一、二〇
英語精讀 佐々木邦 七五
視距測法附地形測量法 花村米三郎 六〇
最新電燈電池及電鈴取扱法 大日本電氣研究所 一、三五
小資本大資本 最善運用秘訣 吉本富三郎著 定價八十五錢
ツアラトウストラ 生田長江 一、七〇
哲理と人生 一、五〇
新時代の宗教 一、二〇
天と紫 八五
全國遊覽地名勝古蹟案內 地理旅行案內 七五
早起 七五
進化と道德 一、五〇
生命本位說 一、二〇
[illegible] 六五

蘇峰學人序 國民新聞社編
戰後の教育
定價四十五錢 郵稅四錢
好評如湧 忽にして三版發賣
朝野の大家江湖の有志より徵したる戰後の教育に對する唯一の具體的成案にして教育振興の大方針悉在此中

安藤善四郎著
朝鮮鑛石學及探鑛法
四六版 二百五十頁
並製金一圓廿錢 上製金一圓四十錢 送料六錢
發行所 京城本町二丁目 ウツボヤ書籍店
內容大要
△地質學 岩石總論 火成岩水成岩現出の狀態 岩石各論 地殼の變遷
△鑛物通論 鑛物の形態 鑛物の物理的性質 成生及現出
△鑛物特論 造岩鑛物 鑛石類 脈石類 分析及鑑定
△探鑛法 鑛石の露頭 隱頭探鑛
△地質鑛石 地質大要 鑛石の地質的分布 各道の地質及鑛山
附錄 ▽鑛石分析及鑑定表△朝鮮鑛業令△

朝鮮總督府編 朝鮮植物調查書 四六判 定價九十錢 送料六錢
朝鮮藥學會編 朝鮮中學商業文學試驗問題集 定價五十錢 送料六錢
改訂五版 朝鮮商業提要 東京高商教授切田太郎 中央日本大學講師古館市太郎共著 改正定價八十錢 送料八錢 三月一日發行
常平庵主人閲 朝鮮古錢價格圖鑑 近刊
發賣元 京城太平通一丁目 大阪屋號 振替京城三〇〇番
大賣捌 日韓書房 松堂 京城日報社代理部

品質第一 誠實第一 賣行第一
キッコーリウ
最上醬油
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目電話二四五番